

Ⅷ 文化財保護

1 有形文化財

(1) 建造物

①重要文化財 新垣家住宅主屋ほか3棟 防災施設事業 那覇市

事業目的：重要文化財の適正保存 事業内容：経年劣化による主屋、作業場、離れ等の保存修理

	平成29年度実績額（千円）	平成24年度～29年度総事業費（千円）
市補助額	862	3,037
県補助額	859	3,029
国庫補助額	6,884	24,252
所有者	1	9
合計	8,606	30,327

②重要文化財 津嘉山酒造所施設ほか2棟保存修理事業 名護市

事業目的：重要文化財の適正保存 事業内容：経年劣化と蟻害腐朽の保存修理

	平成29年度実績額（千円）	平成23年度～29年度総事業費（千円）
市補助額	1,378	20,697
県補助額	2,756	41,395
国庫補助額	22,048	331,160
所有者	1,378	20,697
合計	27,560	413,949

③重要文化財 津嘉山酒造所施設防災設備工事事業 名護市

事業目的：重要文化財の適正保存 事業内容：火災防止及び火災抑制のための防災施設事業

	平成29年度実績額（千円）	平成23年度～29年度総事業費（千円）
市補助額	156	156
県補助額	311	311
国庫補助額	2,496	2,496
所有者	158	158
合計	3,121	3,121

④国選定 竹富町竹富島重要伝統的建造物群基盤強化事業（1件） 竹富町

事業目的：竹富島重要伝統的建造物群保存地区内の建造物保存 事業内容：保存修理事業

	平成29年度実績額（千円）	
町補助額	757	
県補助額	618	
国庫補助額	5,499	
合計	6,874	

⑤県指定重要文化財 天后宮保存修理事業 久米島町

事業目的：県指定有形文化財の適正保存 事業内容：経年劣化による屋根瓦前面修理

	平成29年度実績額（千円）	平成28年度実績額（千円）
町補助額	4,855	1,089
県補助額	4,855	217
国庫補助額	0	0
合計	9,710	1,306

(2) 美術工芸

① 在外沖縄関連文化財調査

事業総額：943千円

事業種別：県単独事業

事業主体：沖縄県

調査期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

調査目的：琉球王国時代から現在に至るまで、沖縄では数々の優れた価値を有する文化財が生み出されてきたが、様々な理由によって、散逸してしまった。本調査は海外に散逸した、琉球関係の資料を収集することにより、沖縄戦などで失われた文化財を補完し、沖縄文化の体系化の基礎資料作成を目的としている。

② 琉球国王尚家関係資料修復

事業総額：17,012千円（国13,600千円、県754千円、市2,658千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：那覇市

修復期間：平成29年5月2日～平成30年3月24日

修復目的：琉球国王尚家関係資料とは、1995年～1996年に那覇市に寄贈され文書類1,341件、美術工芸品85件をいう。その中から、尚家の個人資料や現代資料を除いた1,166件の尚家文書、並びに85件の美術工芸品が2006年に国宝として指定された。これらの資料は沖縄戦で多くの文化遺産を失った沖縄にとって、近世琉球期の政治・経済・文化、あらゆる面の解明に役立つ、重要な資料群である。

早急に修理・補修を行い、広く展示・公開しなければならないが、文書点数が多いため、損傷状態の診断を行い、より劣悪な状態のものから優先的に修復する方針で、12年計画で実施する。

事業概要：前年に引き続き、尚家文書国宝指定分1,166件のうち、国宝「琉球国王尚家関係資料」の文書記録類国宝「琉球国王尚家関係資料」の文書記録類38冊の修理もおこなった。

③ 喜舎場永珣資料 史料調査事業

事業総額：3,267千円（国2,600千円、県189千円、市478千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：石垣市

事業期間：平成29年6月1日～平成30年3月31日

事業目的：喜舎場永珣氏が収集保管していた古文書類と、同氏が遺した調査ノート、調査メモ等の整理と調査を行い、報告書を作成して郷土の歴史・文化の研究に資することを目的に実施する。

事業概要：平成24年に、喜舎場永珣氏が収集した古文書類や新聞資料、調録音テープ等が石垣市立八重山博物館に寄贈された。本事業では、古文書類の整理、目録作成と、調査ノート・メモ、レコード、録音テープの整理、分類を行うとともに、内容分析等の調査を行う。また、必要に応じ、デジタル化し記録の保存を図る。

実施体制：

・事業着手後、「喜舎場永珣資料調査会」（仮称）を開催する。

調査会は、年に2回開催を予定し、今年度事業の調査方針や調査方法、調査内容の助言を行う。事業完了前の調査会では、今年度事業の総括と次年度以降の調査方針や計画について審議し、次年度報告書作成に向けた作業に反映させていきたい。

・「喜舎場永珣資料調査会」の委員は、地元在住の有識者と県内大学の教授等で構成する。委員は、年二回の調査会で、調査方針、方法、内容等を審議し調査への指導助言を行う。また、地元有識者の委員からは、調査をすすめていくなかで、適宜、指導助言を仰ぐものとする。

・八重山博物館学芸員が調査員となり、非常勤職員を調査補助としておく。

(3)銃砲刀剣類の登録

①沖縄県銃砲刀剣類登録審査委員

*沖縄県教育委員会委嘱(平成28年9月12日から平成30年9月11日)

大嶺 信義 (刀剣研究家)

上原 正人 (刀剣研究家)

兼濱 清周 (刀工)

②登録審査会

日 時:平成30年2月13日(火)11:00~17:00

場 所:沖縄県立図書館 大ホール

審査件数:11件(内訳:たち1、刀1、わきざし5、短刀3、なぎなた1)

登録証交付件数:11件

登録証再交付申請:1件(内訳:刀1)

③登録申請件数及び登録件数

区 分	種 別	申請件数	登録件数	備 考
刀 剣	た ち	1	1	
	刀	1	1	
	わきざし	5	5	
	短 刀	3	3	
	や り	0	0	
	な ぎ な た	1	1	
古式銃砲	火 縄 銃	0	0	
	その他の古式	0	0	
合 計		11	11	

④証紙出納実績

	審査件数	登録審査手数料	出納実績	備 考
審査手数料(新規登録)	11	6,300円/件	69,300円	
審査手数料(再 交 付)	1	3,500円/件	3,500円	
制作承認手数料	0	800円/件	0円	
合 計			72,800円	

⑤登録を受けた銃砲または刀剣類の譲受け・相続などの届出件数

種 別	銃砲など	刀剣類	計
譲り受け	0	6	6
相 続	0	0	0
貸 付 け	0	0	0
保管の委託	0	0	0
(発見届)	(0)	(8)	(8)
新 作	0	2	2
合 計	0	16	16

2. 無形文化財

(1) 芸 能 (伝承者養成事業)

①重要無形文化財「琉球舞踊」伝承者養成事業

事業総額：7,195千円（国7,000千円、県140千円、保存会52千円）

実施内容：国補助による琉球舞踊保存会直営事業（会長：宮城能鳳）

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

研 修 会：期日、内容等は下記のとおり。

事業趣旨：琉球舞踊の古典舞踊と雑踊について、それぞれの師匠の技を再現し、確認することで、琉球舞踊に伝えられる技について演目ごとに理解を深める。

保持者を中心に現在の実演家たちが師事した師匠の技を再現し、流派を越えて学習することを旨とする。

内 容：古典女踊「伊野波節」と二才踊「上り口説」について、各系統ごとに先達のわざを再現し、技術研修の成果を発表した。発表と、顧問の講話を開催。

琉球舞踊の古典舞踊七踊の研修

ア 系統の整理（琉球王国時代の御冠船踊りの芸統をひく7人の先達を基に整理）

現在の琉球舞踊保持者を中心に整理すると下記の通り。 ※ 下線部は物故者

玉城盛重 { ①玉城盛義：玉城節子、玉城秀子、谷田嘉子、金城美枝子、又吉静枝
②島袋光裕：島袋光晴、佐藤太圭子
③親泊興照：二代目親泊興照
④宮城能造：宮城能鳳
⑤真境名佳子：宮城幸子、喜納幸子
⑥真境名由康：真境名直子（2013年逝去のため、真境名結子と協議）

嵩原安詩 { ⑦比嘉清子：大城政子
⑧田島清郷：志田房子

伝承者を中心に整理すると下記の通り。

新垣松含 ⑨比嘉澄子
渡嘉敷守良 ⑩児玉清子 二代目児玉清子・由利子 金城光子 花岡勝子
読谷山親雲上 ⑪金武良章 安座間明美
川平親雲上 ⑫阿波連本啓 阿波連蘭子
屋我良勝 ⑬山田貞子 山内小夜 山内喜美枝

※ 宮城能造：二代目宮城能造
田代タカ子 宮城美能留：宮城早苗・園美

イ 研修方法

古典舞踊については、現在の琉球舞踊保持者の技の源流である玉城盛重と嵩原安詩について、8つ（上記の①～⑧）のグループに分ける。琉球舞踊保持者に担い手がいない読谷山親雲上、新垣松含、屋我良勝、川平親雲上、渡嘉敷守良の5人の師匠の技について5つ（⑨～⑬）に分けて研修を実施する。

あわせて、演目についての講話を実施する。

a 「琉球舞踊について」 平成29年5月21日 崎原 綾乃

b 「伊野波節と上り口説の詞章について」 平成29年12月24日 波照間永吉（顧問）

平成26年度より実技研修に重きをおき、各分野より選ばれた選抜研修生（約80名）と、一般研修生（約400名）にわかれる。

選抜研修生には9月の実技研修、及び12月の成果発表会への出演を課す。実技研修は稽古着だが、成果発表会は衣装着用・拵えあり。

その他の一般研修は、2月の全員研修にて保持者の前で課題演目の演舞を行う（稽古着・拵えなし）。

ウ 演目

平成29年度は、古典舞踊「伊野波節」、二才踊「上り口説」

エ 研修回数

平成29年度は以下の7回の研修を行う。

a 開講式（5月20日） ※ 全員対象

- b 選抜研修（9月17日・18日） ※ 選抜者対象
- c 成果発表会及び講話（12月23日・24日）
※ 出演は選抜者、出席は全員対象
- d 実技発表会（平成30年2月17日・18日）
※ 全伝承者対象（選抜者を除く）

選抜者は2回（9月17日・18日）の研修を行い、その成果を踏まえて2回の成果発表公演（12月23日・24日）を実施する。

※ 衣装、化粧、道具等についても師からの教を再現する。

※ 研修成果発表会は一般観客にも披露する。

オ 研修報告

- a 開講式（平成29年5月20日 会場：ているる）
伝承者全員を対象とした開講式及び講話。
講話は研究者・崎原綾乃「琉球舞踊について」。琉球舞踊について概略的な講義を行った。来賓には沖縄県文化財課課長の萩尾俊章氏、及び当会顧問の宜保榮治郎氏・波照間永吉氏を招いて、一人ずつ激励の言葉をいただいた。
- b 選抜研修（平成29年9月17日・18日 会場：国立劇場おきなわ大稽古室）
平成29年度の選抜の選抜者80名を対象とした研修。
全体を10グループにわけ、グループごとによる演舞を行う。選抜研修に選ばれると、最低1ヶ月に1回、各自にて稽古を行う（稽古の様子は稽古表を提出）。その後、この9月の選抜研修にて全保持者の前で演舞を披露し、指導を受ける。9月の選抜研修は、衣裳は舞踊・地謡ともに稽古着で、拵えは行わない。
- c 成果発表会（平成29年12月23日・24日 会場：国立劇場おきなわ大稽古室）
9月の選抜研修をへて、集大成となる成果発表会を行う。舞踊は衣裳・拵えを行い、地謡は黒朝を着用（雑踊ではハチマチをはずす）。
2日目には有識者による講話を行う。顧問・波照間永吉氏による「伊野波節と上り口調の詞章について」。本年度の課題曲について、文法的な観点から解説を行った。
本成果発表会は、全伝承者が出席して鑑賞するとともに、ひろく一般にも公開し、琉球舞踊の普及につとめる。また前日の22日にリハーサルを行った。

－出演者名簿（1日目：①～⑦グループ／2日目：⑧～⑩グループ）－

○印が地謡リーダー ※太鼓は「上り口説」のみ出演

①グループ

舞踊：（真踊流）安谷屋ヨネ子・大田文代・山城道子・安仁屋智永子
地謡：（歌三線）（野村流音楽協会A）○崎濱秀光・崎濱秀貴・山内昌也
（箏）比嘉敏江 （笛）知念久光 （胡弓）崎原盛勇 （太鼓）國場秀治

②グループ

舞踊：（玉城流扇寿会）生田明子
（玉城流華豊の会）神谷三千代・照屋正江・上原きみ子
地謡：（歌三線）（安富祖流絃聲会A）○花城英樹・宮里一人・神谷大輔・横目大哉
（箏）新川陽子 （笛）小浜博文 （胡弓）川平賀道 （太鼓）國場秀治

③グループ

舞踊：（玉城流玉扇会）米須千恵・高嶺敦子 （玉城流七扇会）浜川真由美
（玉城流乙姫要乃会）富里敬子
地謡：（歌三線）（安富祖流絃聲会A）○花城英樹・宮里一人・神谷大輔・横目大哉
（箏）新川陽子 （笛）小浜博文 （胡弓）川平賀道 （太鼓）國場秀治

④グループ

舞踊：（玉城流翔節会）神山穂紫乃・大城美由紀・金城しの
（玉城流いずみ会）真喜志恵子
地謡：（歌三線）（安富祖流絃聲会B）○濱元盛爾・上地正隆・渡名喜康広・比嘉寿朗
（箏）前西原暎子 （笛）小浜博文 （胡弓）川平賀道 （太鼓）國場秀治

⑤グループ

舞踊：（宮城本流鳳乃會）古謝徳子・照屋由紀乃
地謡：（歌三線）（野村流音楽協会A）○崎濱秀光・崎濱秀貴・山内昌也
（箏）比嘉敏江 （笛）知念久光 （胡弓）崎原盛勇 （太鼓）國場秀治

⑥グループ

舞踊：（親泊本流親扇会）永吉静子
地謡：（歌三線）（野村流音楽協会B）○新地孝一・比嘉三男・山内昌也
（箏）新垣君子 （笛）知念久光 （胡弓）崎原盛勇 （太鼓）國場秀治

⑦グループ

舞踊：(太主流華の会) 金城陽一

地謡：(歌三線) (安富祖流絃聲会B) ○濱元盛爾・上地正隆・渡名喜康広・比嘉寿朗
(箏) 前西原暎子 (笛) 小浜博文 (胡弓) 川平賀道 (太鼓) 國場秀治

⑧グループ

舞踊：(玉城流喜納の会) 伊波正江 (玉城流寿宜の会) 森久美

(玉城流翠扇会) 阿嘉修 (玉城流千壽の会) 平川文字

(玉城流七扇敏風会) 外間智子

地謡：(歌三線) (野村流保存会A) ○糸数春美・上原宏子・上原トミ子・島袋奈美
(箏) 喜屋武初江 (笛) 照屋正 (胡弓) 祖堅信義 (太鼓) 金城盛松

⑨グループ

舞踊：(安座間本流) 屋宜恵美子 (阿波連本流) 屋比久節子

(松含流) 比嘉智香子・仲本ひろみ (渡嘉敷流守藝の會) 金城光子

(柳清本流) 比嘉倫子

地謡：(歌三線) (野村流保存会B) ○比嘉義勝・下茂門勝・新里清文・伊波三郎
(箏) 比嘉玲子 (笛) 照屋正 (胡弓) 祖堅信義 (太鼓) 金城盛松

⑩グループ

舞踊：(島袋流千尋会) 末吉ヤスエ (宗家眞境名本流) 仲田弥生子

(八擘流) 友寄春美 (琉舞無憂華の会) 山田玲子

地謡：(歌三線) (野村流保存会A) ○糸数春美・上原宏子・上原トミ子・島袋奈美
(箏) 喜屋武初江 (笛) 照屋正 (胡弓) 祖堅信義 (太鼓) 金城盛松

d 技能発表会(平成30年2月17日・18日 会場：国立劇場おきなわ大稽古室)

平成29年度の選抜者以外(約400人)を対象とした研修。

全体を22グループにわけ、グループごとによる演舞を行う。各自にて稽古ののち、この技能発表会にて全保持者の前で演舞を披露し、指導を受ける。衣裳は舞踊・地謡ともに稽古着で、拵えは行わない。

②選定保存技術「結髪(沖縄伝統芸能)」伝承者養成事業

事業総額：1,240千円(国1,106千円、県59千円、保持者75千円)

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：古波蔵佐紀(雅号 小波則夫)

伝承者：古波蔵ひろみ 田口博章

事業期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

場所：自宅工房

事業内容：結髪(沖縄伝統芸能)は、沖縄の伝統芸能で役柄に相応しい伝統的な髪を結い上げる技術である。

昨今、組踊では男性舞踊家の鬘(かつら)使用の頻度が高く、今年度の研修では鬘を使用し、「垂髪(たれがみ)」の指導を行った。

鬘は、復帰前に洋装用のネット式ロングヘアを改良し、男性舞踊家の垂髪用として使用してきた経緯がある。

ネット式ロングヘアを使用したことで、男性舞踊家の頭部は小さくなりバランスが良くなった。今期は、ネット式鬘を用いて、鬘の扱い方、装着法、実演家の輪郭や体型に合わせた垂髪の結髪法を習得させた。

概要：1 結髪伝承者養成事業として、2名の伝承者に対し、25日間の研修を実施した。

2 結髪技術普及のためのリーフレットを作成した。

3 結髪技術伝承のための教則のためのDVDを作成した。

作業内容：1 鬘(垂髪用)の掴(つか)み方、櫛さばきを習得させた。(4月)

2 実演家の顔立ちや地毛の量を熟知させ、地毛のしまい方や鬘の装着法及び固定法を習得させた。(5月・6月・7月)

3 鬘のスムーズな櫛入れを習得させながら、顔立ちにあわせた垂髪頭頂部の唐輪髷(からわまげ)と髷鬘(まげびん)の分量、長さを習得させた。(8月・9月)

4 鬘の油付け、結髪法を習得させた。(10月・11月・12月)

5 髪飾りの装着法を習得させた。(1月・2月)

6 鬘で結う「垂髪」の総まとめ。(3月)

③選定保存技術「組踊道具・衣裳製作修理」伝承者養成事業

事業総額：7,203千円(国7,000千円、県93千円、保存会110千円)

実施方法：国・県補助による組踊道具・衣裳製作修理保存会直営事業

事業主体：組踊道具・衣裳製作修理技術保存会

事業期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

場 所：各技術者の工房

事業内容：道具・衣裳製作修理は、沖縄の伝統芸能である「組踊」で使用される各種の道具と、各役柄に応じた伝統的な衣裳を製作し、修理する技術であり、国の重要無形文化財「組踊」の保存に欠くことはできない。

1 道具：組踊道具の製作をした。技術者4名で、伝承者7名を指導した。

合計454回の研修を行った。

(1) 講 師：金城裕幸 新垣孝 平田智之 上原じゅん子

(2) 伝承者：宮城優子 金城小百合 新垣克 城間貞光 江洲のぶ子

佐渡山也子 比嘉建秀

2 衣装：組踊衣装の製作をした。技術者1名で、伝承者1名を指導した。

合計10回の研修を行った。

(1) 講 師：嘉手納タケ子

(2) 伝承者：満名苗子

3 技能・技術の錬磨：

県内外にある作品・素材・技術（舞台公演を含む）を見学し、それぞれの知識を高め、作品・技術に反映させた。

④重要無形文化財「組踊」伝承者養成事業

事業総額：13,753千円（国13,676千円、県12千円、保存会65千円）

実施方法：国補助による一般社団法人伝統組踊保存会直営事業

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

研 修 会：期日、内容等は下記のとおり。

事業趣旨：伝承者に実技研修と教養講座（座学）を実施し技芸のさらなる向上を図る。

保持者は、伝承者の技量向上に資するように指導に努める。

基本方針：1 実技指導は、伝統組踊保存会会員である保持者が行う。座学講座については、外部講師の招聘も考慮する。

2 立方・地謡に色々な役柄を与え、将来の指導者としての資質・能力を養うように指導する。

3 補助事業における伝承者は、若手と中堅、さらには国立劇場おきなわ組踊研修修了生を持って編成する。（今年度、立方31名、地謡34名）

4 指導計画を策定し、日々の研修・稽古を重視して技能向上を最重点に置く。

5 座学講座、実技研修の成果確認は舞台発表を実施して行う。

研修内容：1 実技研修

(1) 実技研修演目は、朝薫五番（「護佐丸敵討」「執心鐘入」「女物狂」「銘苅子」「孝行の巻」）と「手水の縁」「萬歳敵討」「花売り縁」とする。

(2) 前期・後期、各15回の研修を実施。年間に二演目を研修する。

2 座学

(1) 座学は、琉球の歴史、芸能史、組踊の歴史的背景、組踊に関する事項、組踊と他の伝統芸能の比較等。前期、後期、各5回の講座を実施する。

3 成果発表会の実施

成果発表会を実施する。

前期は平成29年8月27日（日）、後期は平成30年2月11日（日）。

⑤県指定無形文化財「琉球歌劇」伝承者養成事業

事業総額：1,332千円（県648千円、保存会684千円）

実施方法：県補助による琉球歌劇保存会直営事業（会長：吉田妙子）

事業内容：歌劇現代明朗歌劇「義理の兄弟」、歌劇名作歌劇「伊江島ハンドー小」を、技能保持者指導のもと、15名の伝承者が研修し、その成果を発表した。

事業期間：平成29年12月21日（木）～平成30年3月30日（金）

研 修：平成29年12月23日（土）～平成30年1月24日（日）

発 表 会：平成30年1月24日（水） 18:00（開演）

場 所：国立劇場おきなわ 小劇場

研修期間：立ち稽古7日（発表会も含む）

指導者：泉賀寿子 伊良波冴子 久高将吉 瀬名波孝子 *平良進 *徳原清文
 中曾根律子 *八木政男 *真榮田文子 宮良良子 吉田妙子
 与座ともつね 与座喜美子 *は、本年度の指導担当者（五十音順）

研修者：赤嶺啓子 新垣勝男 糸数きよし 上間朝子 叶都美恋 嘉陽田朝裕
 具志清健 小林美奈子 瑚城舞花 小谷和佳子 高宮城実人 立花愛希
 玉城政子 知名剛史 知念亜希 知念勝三 平岡絵津子 安次嶺正美
 国吉次子 国吉亜季子 中村志津子 大城常政 恩納裕 宮城武碩
 以上24名

⑥県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」伝承者養成事業

事業総額：300千円（県100千円、保存会200千円）
 実施方法：県補助による沖縄伝統音楽野村流保存会直営事業（会長：大城長俊）
 事業内容：野村流の正しい継承と発展及び芸能文化の向上を図ることを目的に、会員（保持者、伝承者）を対象に、大昔節を中心とした研修会と伝承者研修発表会を実施した。
 事業期間：平成29年9月18日～平成30年3月30日

- (1) 研修会
- ア 開催日：平成29年9月18日（月）
 場所：国立劇場おきなわ
 参加人数：147人
 研修内容：茶屋節、すき節、本調子仲風節、本調子述懐節、浜千鳥節、本田名節、眞福節のはいちやう節、揚高称久節、前之浜、天願節、ちるれん節
 - イ 開催日：平成29年11月12日（日）
 場所：国立劇場おきなわ
 参加人数：132人
 研修内容：茶屋節、すき節、本調子仲風節、本調子述懐節、浜千鳥節、本田名節、眞福節のはいちやう節、揚高称久節、前之浜、天願節、ちるれん節
- (2) 研修発表会
 開催日：平成29年2月17日（土）
 場所：西原町町民交流センターさわふじ未来ホール
 参加人数：210人
 発表内容：保持者・伝承者斉唱、保持者斉唱、独唱、舞踊
- (3) 指導者：大城長俊 照屋勝義 中村一雄 諸見川和男 中村一雄

⑦県指定無形文化財「沖縄伝統音楽安富祖流」伝承者養成事業

事業総額：301千円（県100千円、保存会201千円）
 実施方法：県補助による沖縄伝統音楽安富祖流保存会直営事業（会長：照喜名朝一）
 事業内容：年間事業計画により伝承者養成事業を毎月1回開催し保持者が指導を行った。また、文化的知識を深め、資質の向上を図る目的に専門家、研究家講師を招聘し特別講演会を実施した。
 事業期間：平成29年5月21日～平成30年3月30日

- (1) 特別講演会（保持者・伝承者研修）：
 日時：平成29年8月27日（日）11:00～12:00
 講師：井上秀雄 氏
 講話内容：「私と琉球芸能」
 場所：国立劇場おきなわ 大稽古室
- (2) 研究会・研修会
- ア 保持者研究会 毎月1回 第4日曜日 10:00～12:00
 テーマ 伝統音楽安富祖流の研究
 - イ 伝承者研修会 毎月1回 第4日曜日 10:00～12:00
 テーマ 伝統音楽安富祖流の研究

回数	開催日	内容・研修場所	備考
1	5月28日	定例研修会（真玉橋公民館） 御前風（5節） 茶屋節・すき節 十七八節 作田節 伊野波節	研修指導 保持者
2	6月25日	定例研修会（国立劇場おきなわ中稽古室） 御前風（5節） 茶屋節・すき節 十七八節 ちゃんな節 稲まづん節	研修指導 保持者
		定例研修会（国立劇場大劇場稽古） 御風風（5節）	研修指導

3	7月23日	茶屋節 すき節 十七八節 作田節 ちゃんな節	保持者
4	8月27日	定例研修会（国立劇場おきなわ大稽古室） 「茶屋節」「すき節」	研修指導 保持者
		特別公演会（国立劇場大稽古室） 演題 「私と琉球芸能」 講師 井上秀雄 氏	講師 井上秀雄
5	9月24日	定例研修会（真玉橋公民館） 御前風（5節） 茶屋節・すき節 諸鈍節（芋の葉節）	研修指導 保持者
6	10月29日	定例研修会（真玉橋公民館） 御前風（5節） くにや節 大昔節 昔節より昔蝶節（本散山） 暁節（瓦屋節）	研修指導 保持者
7	11月26日	定例研修会（国立劇場大劇場稽古室） 御前風（5節） 大昔節 昔節より今風節（本散山） 首里節（述懐節）	研修指導 保持者
8	12月24日	定例研修会（国立劇場おきなわ大稽古室） 御前風（5節） 師範教師課題曲 今風（仲間節） 首里節（述懐節）	研修指導 保持者
9	平成30年 1月28日	定例研修会（真玉橋公民館） 御前風（5節） 師範教師課題曲 今風（仲間節） 首里節（述懐節）	研修指導 保持者
10	2月26日	定例研修会（真玉橋公民館） 御前風（5節） 師範教師課題曲 今風（仲間節） 首里節（述懐節）	研修指導 保持者
11	3月25日	定例研修会（国立劇場おきなわ大稽古室） 今年度研修曲のおさらい 大昔節とチラシ	研修指導 保持者

⑧県指定無形文化財「沖縄伝統音楽箏曲」伝承者養成事業

事業総額：300千円（県100千円、保存会200千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽箏曲保存会直営事業（会長：赤嶺弘子）

事業内容：保持者の指導による伝承者養成研修会、並びに実演家による講演会を実施し、技能の向上と沖縄の伝統音楽についての理解を深めた。

事業期間：平成29年7月1日～平成30年3月30日

- (1) 研修会：第1回 平成29年7月15日（土） 95名参加
第2回 平成29年10月21日（土） 90名参加
第3回 平成30年2月3日（土） 85名参加

場 所：国立劇場おきなわ 大稽古室

指導者：赤嶺弘子 山内好子 米須好子 仲宗根巴津美 山内照子

- (2) 講演会

日 時：平成30年2月3日（土）

場 所：西原町社会福祉センター

講 師：仲嶺 貞夫 氏

演 題：對島を訪ねて～琉球箏曲との関連～

(2) 芸 能（組踊等普及啓発事業）

①組踊特別鑑賞会（全国公演）・・・国庫補助事業

事業総額：28,858千円（国27,753千円、県944千円、保存会161千円）

趣 旨：全国各地で重要無形文化財「組踊」を鑑賞する機会を設け、その一層の普及・伝承を図り、併せて開催地の芸術文化活動、文化財保護活動に資するため、本特別鑑賞会を開催する。

普及公演：組踊を広く一般に周知するため、全国5カ所で公開した。

事業主体：一般社団法人 伝統組踊保存会

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

事業内容：組踊1題、琉球舞踊4題を上演し、組踊の概要等を比嘉均及び山内久江（県教育庁文化財課指導主事）が解説した。字幕を投影し、演目解説書を観客に配布した。

開催地、開催日時及びプログラムは次のとおりである。

- 1 静岡県菊川市「菊川文化会館アエル」・・・平成29年6月11日（日）午後2時開演
主 催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会
共 催／菊川市 菊川市教育委員会 後援／静岡新聞社 静岡放送 静岡新聞びぶれ
第1部：琉球舞踊「老人老女」安次嶺浩和・宜保政彦

- 「若衆こてい節」親泊久玄・真境名律弘
「下り口説」知花令磨 「天川」海勢頭あける
- 第2部：組踊「護佐丸敵討」 立方責任者（親泊興照）・地謡責任者（中村一雄）
配役：あまおへ（親泊興照） 鶴松（親泊九玄） 亀千代（真境名律弘）
母（海勢頭あける） 供1（安次嶺浩和） 供2（山入端實） 供3（儀保政彦）
きょうちやく持（知花令磨）
地謡：歌・三線（中村一雄、砂辺孝真、玉城利和、國吉啓介）
箏（大城幸枝） 笛（宇保英明） 胡弓（新城清弘） 太鼓（金城盛松）
- 2 奈良県生駒郡三郷町「三郷町文化センター」・・・平成29年7月15日（土）午後2時開演
主 催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 （公財）三郷町文化振興財団
共 催／三郷町 三郷町教育委員会
- 第1部：琉球舞踊「老人老女」嘉手苺林一・金城清一
「若衆こてい節」名嘉正光・中村圭央
「下り口説」糸満盛幸・大城常政 「天川」新垣悟
- 第2部：組踊「万歳敵討」 立方責任者（金城清一）・地謡責任者（島袋英治）
配役：高平良御鎖（嘉手苺林一） 謝名の子（池間隼人） 慶雲（宮里光也）
高平良の妻（岸本剛） 高平良の娘（新垣悟） 道行人（金城清一）
列女1（名嘉正光） 列女2（仲村圭央） 御鎖供1（糸満盛幸）
御鎖供2（大城常政） きょうちやく持（山入端實）
地謡：歌・三線（島袋英治、新地孝一、上間克美、島袋功）
箏（喜屋武初江） 笛（知念久光） 胡弓（崎原盛勇） 太鼓（宇座嘉憲）
- 3 宮城県加美郡加美町「中新田文化会館（パッハホール）」
・・・平成29年8月5日（土）午後2時開演
主 催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 加美町
- 第1部：琉球舞踊「老人老女」儀保政彦・高江洲清彦
「若衆こてい節」神谷武史・比嘉大志
「下り口説」金城陽一 「天川」宮城茂雄
- 第2部：組踊「花売の縁」 立方責任者（真境名正憲）・地謡責任者（喜瀬慎仁）
配役：森川の子（神谷武史） 乙樽（宮城茂雄） 鶴松（大城黎旺） 猿引（金城陽一）
猿（石垣正城） 薪取（真境名正憲） 黒子1（儀保政彦） 黒子2（比嘉大志）
地謡：歌・三線（喜瀬慎仁、宮城康明、大湾朝重、池原憲彦）
箏（比嘉淳江） 笛（嘉数世勲） 胡弓（又吉真也） 太鼓（喜舎場盛勝）
- 4 岡山県矢掛町「やかげ文化センター」・・・平成29年9月9日（土）午後2時開演
主 催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 矢掛町教育委員会
後 援／矢掛町 矢掛町文化協会 矢掛放送 山陽新聞社 RSK山陽放送
RNC西日本放送 FM岡山 中国新聞備後本社
- 第1部：琉球舞踊「老人老女」島袋光尋・前當正雄
「若衆こてい節」伊野波盛人・上原崇弘
「下り口説」糸満盛幸 「天川」仲村圭央
- 第2部：組踊「執心鐘入」 立方責任者（島袋光尋）・地謡責任者（照喜名進）
配役：中城若松（上原崇弘） 宿の女（仲村圭央） 座主（島袋光尋）
小僧1（伊野波盛人） 小僧2（糸満盛幸） 小僧3（前當正雄）
黒子（田口博章）
地謡：歌・三線（照喜名進、仲嶺伸吾、與那國太介、上原睦三）
箏（宮里秀明） 笛（宮城英夫） 胡弓（川平賀道） 太鼓（比嘉聰）
- 5 石川県小松市「こまつ芸術劇場うらら」・・・平成29年11月18日（土）午後2時開演
主 催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 共 催／小松市
- 第1部：琉球舞踊「老人老女」宮里徹雄・前當正雄
「若衆こてい節」親泊久玄・宮城茂雄
「下り口説」當山力 「天川」真境名律弘
- 第2部：組踊「護佐丸敵討」
配役：あまおへ（宇座仁一） 鶴松（親泊久玄） 亀千代（宮城茂雄）
母（真境名律弘） 供1（宮里徹雄） 供2（山入端實） 供3（前當正雄）
きょうちやく持（當山力）
地謡：歌・三線（西江喜春、玉城正治、神谷大輔）
箏（島袋八重子） 笛（大湾清之） 胡弓（嶺井敦弘） 太鼓（與那覇徹）
- 6 千葉県旭市「千葉県東総文化会館」・・・平成30年1月27日（土）午後2時開演

主 催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会
公益財団法人千葉県文化振興財団
後 援／千葉県 千葉県教育委員会 銚子市教育委員会 旭市教育委員会
匝瑳市教育委員会

第1部：琉球舞踊「老人老女」安次嶺浩和・前當正雄
「若衆こてい節」伊野波盛人・金城真次
「下り口説」新垣悟・知花令磨 「天川」大湾三瑠
第2部：組踊「万歳敵討」立方責任者（嘉手苺林一）・地謡責任者（前川朝文）
配役：高平良御鎖（川満香多） 高平良の妻（大湾三瑠） 高平良の娘（金城真次）
謝名の子（石川直也） 慶雲（天願雄一） 列女1（新垣悟）
列女2（伊野波盛人） 御鎖供1（前當正雄） 御鎖供2（安次嶺浩和）
通行人（嘉手苺林一） きょうちゃこ持（知花令磨）
地謡：歌・三線（前川朝文、銘苺盛隆、前原信喜、仲尾勝成）
箏（野里葉子） 笛（真地利尚） 胡弓（祖堅信義） 太鼓（久志大樹）

②児童生徒の組踊等沖縄伝統芸能鑑賞会・・・県単独事業

事業総額：3,118千円（執行済額3,103千円）

趣 旨：児童生徒に郷土芸能への理解と関心を深めさせ、組踊等沖縄伝統芸能の県内への普及啓
発を図るとともに、若手実演家の活動機会を増やすことによって、後継者の育成を図
る。

実施方法：沖縄県教育委員会が、一般社団法人伝統組踊保存会に事業委託

事業内容：上演演目：組踊（執心鐘入）あるいは沖縄芝居及び沖縄伝統芸能（琉球舞踊）
解 説：演目解説書を児童生徒全員に配布し、演目概要等の紹介
ワークショップ（WS）：希望する学校にて実施

実演団体：一般社団法人 伝統組踊保存会

鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり

ア 鑑賞校（鑑賞人数）：普天間高等学校（1,200人）

日 時：平成29年12月1日（金） 午後2時開演

会 場：宜野湾市民会館

解説及びワークショップ：新里春加

第1部：琉球舞踊

「老人老女」金城清一・前當正雄 「若衆こてい節」伊藝武士

「上り口説」普天間高校生（外間あかり） 「天川」糸満盛幸

第2部：組踊「執心鐘入」「立ち方指導」金城清一 「地謡指導」糸数昌治

解 説：山城 暁

配 役：若松（新垣 悟）、宿の女（大湾三瑠）、座主（平田智之）、

小僧1（糸満盛幸）、小僧2（伊藝武士）、

小僧3（前當正雄）、後見（山城亜矢乃）

地 謡：歌・三線（糸数昌治、金城光信、崎濱秀光）、箏（上地律子）、

笛（崎原盛次）、胡弓（比嘉 清）、太鼓（与那覇 徹）

イ 鑑賞校（鑑賞人数）：南城市立玉城中学校（394人）

日 時：平成29年12月8日（金）

会 場：南城市立玉城中学校体育館

解 説：伊良波さゆき

第1部：琉球舞踊「老人老女」石川直也・大城常政 「若衆ぜい」金城真次

「前の浜」伊藝武士 「かせかけ」田口博章

第2部：沖縄芝居①「割符」「芝居指導」（池宮城実人） 「地謡指導」上間宏敏

配役：アヤー（石川直也）、ウトゥミ（伊良波さゆき）、真鍋（川満香多）

真嘉戸（大城常政）、若按司（田口博章）、高志保（高宮城実人）

目差志保（伊藝武士）、神（金城真次）

地謡：歌・三線（上間宏敏、花城英樹）、箏（屋嘉比桂子）、笛（我那覇常允）

太鼓（金城睦昭）

ウ 鑑賞校（鑑賞人数）：西原町立西原南小学校、西原町立西原東小学校（計455人）

日 時：平成29年12月20日（水） 午後2時開演

会 場：さわふじ未来ホール

解説及びワークショップ：知花小百合

- 第1部：琉球舞踊「老人老女」宇座仁一・大城常政
「若衆こてい節」池間隼人・上原崇弘 「上り口説」山崎啓貴
「天川」真境名律弘
- 第2部：組踊「執心鐘入り」「立ち方指導」真境名律弘 「地謡指導」砂辺孝真
配役：若松（山崎啓貴）、宿の女（仲村圭央）、座主（宇座仁一）、
小僧1（上原崇弘）、小僧2（池間隼人）、小僧3（大城常政）、
後見（西村綾乃）
地謡：歌・三線（砂辺孝真・宮平光英・新垣和則）、箏（比嘉玲子）、
笛（照屋 正）、胡弓（又吉恭平）、太鼓（福原 敬）

③組踊等教育普及事業・・・沖縄県特別推進交付金事業

事業総額：7,605千円（執行済額7,605千円のうち交付金充当額6,084千円）

趣 旨：日常生活において、組踊等沖縄の無形文化財（芸能）を鑑賞する機会の少ない児童・生徒に対し、これを公演し観賞させることによって、郷土の無形文化財（芸能）への理解と関心を深めさせ、これを保存継承する社会的基盤の形成を図る。

実施方法：沖縄県教育委員会が、平成28年度「組踊等教育普及事業」共同事業体に事業委託

実演団体：平成29年度「組踊等教育普及事業」共同事業体

代表者：一般社団法人 オキナワステージプラン

構成員：沖縄伝統組踊「子の会」

事業内容：上演演目：組踊（執心鐘入り）及び沖縄伝統芸能（琉球舞踊）

解 説：演目解説書を児童生徒全員に配布し、演目概要等の紹介

ワークショップ（WS）：日程調整ができた学校にて実施

鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり

- ア 鑑賞校 伊平屋村立伊平屋小学校、伊平屋村立野甫小中学校
【鑑賞会】 日 時：平成29年11月9日（木）9:00～10:30
場 所：伊平屋村産業連携拠点センター
鑑賞人数：87人
配 役：若松（玉城匠）、宿の女（金城真次）、座主（石川直也）
小僧1（池間隼人）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（新垣 悟）
後見・解説（岸本隼人）
地 謡：歌・三線（大城貴幸・仲尾勝成・仲嶺良盛）、箏（池間北斗）
笛（入嵩西諭）、胡弓（玉城和樹）、太鼓（久志大樹）
- イ 鑑賞校 北大東村立北大東小中学校
【鑑賞会】 日 時：平成29年12月18日（月）14:00～15:30
場 所：北大東小学校体育館
鑑賞人数：51人
配 役：若松（玉城匠）、宿の女（佐辺良和）、座主（上原崇弘）
小僧1（比嘉大志）、小僧2（岸本隼人）、小僧3（新垣悟）
後見・解説（川満香多）
地 謡：歌・三線（大城貴幸・仲尾勝成・棚原健太）、箏（仲大千咲）
笛（大城建太郎）、胡弓（与那國太介）、太鼓（横目大通）
- 【W S】 日 時：平成29年12月18日（月）8:40～9:25（北大東小1～4年）
9:40～10:30（北大東小5～中3）
場 所：北大東小学校体育館 受講人数：51人

(3)工芸技術

①重要無形文化財の伝承者養成事業

ア) 重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」伝承者養成事業

事業総額：7,588千円（国 7,000千円、県 151千円、村 436千円、保存会1千円）

実施方法：国・県・大宜味村補助による保存会直営事業

事業主体：喜如嘉の芭蕉布保存会（会長：平良敏子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①技能保持者7人、修了生4名で、平成28年度までの受講生7名と新人1名を対象に個々人

の熟練度に応じた技術指導を実施した。本年度行った技術は以下の通り。

- 1) 芯止め・葉打ち、2) 苧倒し・苧引き・苧炊き、3) 緋結び、4) 染色、
- 5) 撚り掛け、6) 整経、7) 製織、8) 畑清掃

講師：平良敏子、平良美恵子、平良京子、宮城糸美、山城幸枝、翁長洋子、宮城涼子

伝承者：金城明恵、平良清美、神谷美香、吉田木綿、座間味ゆり香、金城直美、加藤泉、山城薫

事業期間：平成29年6月9日～平成30年3月22日

場所：大宜味村立芭蕉布会館

(2) 資料収集整理事業

古芭蕉布の購入をおこなった。

(3) 視察研修

①六日町：原材料の入手現状について調査を実施した。

①宮古島市：「第26回重要無形文化財保持団体秀作展」で視察研修を行った。

(4) 原材料・用具の整備事業

良質の糸芭蕉を確保するため、芭蕉畑除草の委託を行った。

(5) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

イ) 重要無形文化財「宮古上布」伝承者養成事業

事業総額：8,535千円（国 8,000千円、県 170千円、市 251千円、保持団体 114千円）

実施方法：国・県・宮古島市補助による保持団体直営事業

事業主体：宮古上布保持団体（代表者：新里玲子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①本年度は、図案・手括り（講師1名、伝承者2名）、染色（講師1名、伝承者2名）、織り（講師2名、伝承者4名）、洗濯・砧打ち（講師1名・研修生1名）の4部門において実施した。

講師：下地達雄（図案・手括）、平良清子（染め）、上原則子（織り）、豊見山カツ子（織り）

伝承者：松堂初美、石嶺明美、羽地真理子、下地愛子、島袋恵、山城充代、荷川取ひろみ

事業期間：平成29年4月3日～平成30年3月27日

場所：指導者自宅工房及び研修生自宅

②全重協秀作展の見学研修を実施した。

(2) 資料の収集整理

宮古上を資料として購入した。

(3) 原材料・用具の確保

緋小分け機、泥藍作業用品の購入。

(4) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

ウ) 重要無形文化財「久米島紬」伝承者養成事業

事業総額：8,226千円（国 8,000千円、県164千円、町 54千円、保持団体 8千円）

実施方法：国・県・久米島町補助による保持団体直営事業

事業主体：久米島紬保持団体（代表者：山城宗太郎）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①養蚕、絹糸作り、真綿作り、糸つむぎ、製織の伝承者養成講座を実施した。

②養蚕は、4名の講師で伝承者10名に桑の葉の取り方から上族まで毎日2～3回の桑の葉の与え方や、上族の時期等の講習を行った。

③織りは、4名の講師で行った。絹糸作り、糸つむぎ、真綿作りは、4名の講師でケンネル（座繰り機）を用いた糸作り、作った真綿からの糸引き、撚糸機による寄りのかけ方等の講習を行った。

講師：

イ) 養蚕：①高坂エミ子、②宮平トシ子、③幸地綾子、④桃原禎子、⑤我那覇ケ

イ子、⑥山城宗太郎

ロ)絹糸作り：①高坂エミ子、②宮平トシ子、③幸地綾子、④桃原禎子、⑤我那覇ケイ子

ハ)真綿作り：①高坂エミ子、②宮平トシ子、③幸地綾子、④桃原禎子、⑤我那覇ケイ子

ニ)糸つむぎ、①高坂エミ子、②宮平トシ子、③幸地綾子、④桃原禎子、⑤我那覇ケイ子

伝承者：①佐久田康子、②平田とき子、③山城智子、④古堅ヨシエ、⑤神里智江、⑥島袋佐枝、⑦儀間勝枝、⑧仲地洋子、⑨毛利玲子

事業期間：平成29年4月3日～平成30年3月29日

場 所：久米島紬の里ユイマール館

(2) 原材料・用具の確保

養蚕に必要な桑畑の管理委託を行った。

(3) その他

①文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

②国選定保存技術の伝承者養成事業

ア) 選定保存技術「琉球藍製造」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：1,215千円(国1,106千円、県36千円、保持者73千円)

実施方法：国・県・本部町補助による保持者直営事業

事業主体：伊野波盛正(保持者)

事業内容：琉球藍は沖縄の染織品の製作には不可欠な原材料で、現在、選定保存技術保持者である伊野波盛正が唯一の製造者である。藍の製造は自然環境に左右されやすく、安定した供給と高い品質を維持するためには藍葉の栽培・管理と高度に熟練した藍製造の技術が要求される。藍の製造は年2回(6月、11月)行われるが、今年度は染料としての藍の品質を決定する藍(リュウキュウアイ)の栽培管理に重点を置き、藍葉の植付け、施肥、除草、刈入れ、熟成・発酵、沈澱・濾過の藍製造の一連の技術錬磨の事業を実施した。同時に、1名の伝承者養成を行った。

伝承者：伊野波盛昌

事業期間：平成29年4月3日～平成30年3月30日

場 所：伊野波盛正の藍畑・工場

イ) 選定保存技術「琉球藍製造」伝承者養成事業

事業総額：4,385千円(国4,380千円、保存会5千円)

実施方法：国・県・町補助による保存会直営事業

事業主体：琉球藍製造技術保存会(会長：伊良波幸秀)

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①伝承者2名に対して、藍製造技術の伝承者養成及び技術・技能の向上のための指導を行った。作業工程は以下の通りである。

1) 藍葉植え付け、2) 施肥、3) 除草、4) 刈り入れ、5) 熟成・発酵、6) 沈殿・濾過

講 師：伊野波盛正(泥藍製造、藍葉育成)

伝承者：竹山安秀、仲西利夫

事業期間：平成29年4月3日～平成30年3月30日

場 所：伊野波盛正の藍畑・工場及び各藍葉農家の畑

(2) 技術技能の錬磨事業

①藍草の栽培について、会員10名の技術技能の錬磨を行った。

(3) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

ウ) 選定保存技術「手機製作」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：1,106千円(国1,106千円)

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：大城義政(保持者)

事業内容：手機製作は、手織り用の木製の機(織機)を製作する技術であり、染織品の工芸技

術を支える重要な用具製作技術である。長期間乾燥させた木材を使用し、各部材を製材・整形し、組み立てる。この一連の工程には、木材に関する深い知識・加工技術が必要であり、さらに織機の構造・機能、手機（織物）技術に対する理解と知識が要求される。本年度は、手機製作にかかる全工程を伝承者1名に伝授した。

伝承者：大城伸悟

事業期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

場 所：大城織機製作所

エ) 選定保存技術「苧麻糸手績み」伝承者養成事業

事業総額：10,280千円（国10,000千円、県133千円、保存会147千円）

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業主体：宮古苧麻糸手績み保存会（会長：下地ヨシ）

事業期間：29年4月1日～30年3月30日

場 所：宮古島市、多良間村の各講師宅又は公民館

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①宮古上布の原料となる苧麻の栽培から、整経までの5工程を16教室（平良8、下地3、上野2、城辺3）において講師1名、研修生1～6名で実施した。研修の内容は以下の通りである。

1) 苧麻栽培・収穫、2) 繊維剥ぎ取り（苧麻の表皮）、3) 糸績み、4) 撚りかけ、5) 整経

②他産地の視察研修（小千谷縮・越後上布、久米島紬、琉球絣、手機製作等）を行った。

③中級講習のための教場を1ヶ所（上野）を開講し、初級講習修了でも気軽に苧麻績みが出来る環境を整えた。

(2) 技術・技能の錬磨事業

苧麻績み指導の基本部分を統一するために講師の勉強会を開催した。

(3) 研修発表事業

伝承者・会員の成果品の展示会を開催。

③沖縄県指定無形文化財の伝承者養成事業

ア) 県指定無形文化財「びん型」伝承者養成事業

事業総額：426千円（県 320千円、保存会 106千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統びん型保存会（代表：城間榮順）

事業内容：古びん型から学ぶことをテーマに、特殊な技法で型紙製作（糸掛けによる型紙）または型紙を使用して染めるびん型（白地型びん型、返し型びん型、染地型びん型、臙型びん型、二重型びん型）、型紙を用いず、糊袋に糊を入れ白生地の上に模様を描いて染める筒描きびん型（風呂敷・幕・タペストリー）のいずれかの指導を行った。

各工程については次のとおりである。

1) 下絵、2) 型紙彫り／糊袋作成、3) 型置き／筒描き、4) 色差し、5) 糊伏せ、6) 地染め

講師：城間榮順、知念績元、喜友名盛蔵

伝承者：城間榮市、知念績人、喜友名速

事業期間：平成30年1月9日～平成30年3月26日

場 所：各保持者工房

イ) 県指定無形文化財「本場首里の織物」伝承者養成事業

事業総額：345千円（県 259千円、保存会 86千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統本場首里織物保存会（代表：祝嶺恭子）

事業内容：「花織」の全工程（製図から製織まで）の技術指導を実施した。各工程については次のとおりである。

1) 意匠設計、2) 糸精錬、3) 経糸染色、4) 経糸糊つけ、

- 5) 経糸繰返し、6) 整経、7) 仮箆通し、8) 経巻き、9) 花綜続作り、
- 10) 紹綜続作り、11) 綜続通し、12) 花綜続通し、13) 紹綜続通し、
- 14) 箆通し、15) 織付け、16) 緯糸染色、17) 緯糸小管巻き、18) 製織、
- 19) 整理仕上げ

講 師：祝嶺恭子、多和田淑子、ルバーズ・ミヤヒラ吟子

伝 承 者：喜屋武こずえ、野里愛子、眞喜志由香、今帰仁桃子、山城麻希子

事業期間：平成29年8月1日～平成29年9月30日

場 所：各保持者工房

ウ) 県指定無形文化財「読谷山花織」伝承者養成事業

事業総額：448千円（県 336千円、保存会 112千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：読谷山花織保存会（代表：比嘉恵美子）

事業内容：染色した糸を用い、製織(着尺)を指導した。

講 師：比嘉恵美子、島袋秀、池原ケイ子

伝 承 者：島袋明美、比嘉昌子、山田恵利子

事業期間：平成29年10月1日～平成30年3月30日

場 所：各保持者工房

エ) 県指定無形文化財「八重山上布」伝承者養成事業

事業総額：426千円（県 320千円、市 60千円、保存会 46千円）

実施方法：県・市補助による保存会直営事業

事業主体：八重山上布保存会（代表：新垣幸子）

事業内容：今年度は、中村澄子、新垣幸子、松竹喜生子の工房で補助事業を実施する。内容については以下のとおり予定しているが、受講生の経験により若干の変更が生じる可能性がある。中村澄子の工房では、捺染による着尺の指導を行う。講師の技を受講生の経験に応じて技術指導する。講師は、中村澄子。受講生は、中村雪江。新垣幸子の工房では、経緯手積みの糸を使用して括染の帯地製作を指導する(経緯緋、紹織)。講師は、新垣幸子と糸数江美子。受講生は、崎原克友。松竹喜生子の工房では、手積みの太緯糸を使用して捺染の帯地製作を指導する。講師は、松竹喜生子と平良蓉子。受講生は、松竹未来。

なお、新垣・松竹の両工房では、苧麻の刈り取りから、苧引き、苧績み、さらに八重山藍の栽培、色素取出し、染色を講習の一環として組み込む。

講 師：中村澄子、新垣幸子、糸数江美子、平良蓉子、松竹喜生子

伝 承 者：中村雪江、崎原克友、松竹未来

事業期間：平成29年9月1日～平成30年1月31日

場 所：各保持者工房

オ) 県指定無形文化財「琉球漆器」伝承者養成事業

事業総額：349千円（県 262千円、保存会 87千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：琉球漆器保存会（代表：前田孝允）

事業内容：講師2人で昨年度から継続の各伝承者（沈金2人、箔絵・螺鈿1人）に技術・技法と同時に琉球漆器の歴史、特性等を教授した。各工程は以下の通りである。

- 1) デザイン、2) 沈金彫り／螺鈿切り、3) 沈金摺漆／螺鈿貝貼り、4) 沈金仕上げ／螺鈿貝塗り（数回繰返し）、

- 5) 螺鈿仕上げ／箔絵描き、6) 金箔貼りで仕上げ

講 師：金城唯喜、前田孝允

伝 承 者：前田貴子、前田栄

事業期間：平成30年1月7日～平成30年3月26日

場 所：各保持者工房

3. 民俗文化財

(1) 民俗文化財

① 沖縄の行事食に関する総合調査事業

事業総額：1,989,939円（国1,591,000円、県398,939円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：沖縄県教育委員会

事業期間：平成29年4月1日から平成30年3月31日

事業目的：沖縄県の行事食は、先祖崇拝や民間信仰といった沖縄の基層文化と深く結びついており、その食材、調理法や用具、祭祀における取扱等の習俗について地域的な特色が見られる。本調査事業は、沖縄の行事食の実態の把握と各地域の状態、文化財的価値などを明らかにするために、全県的、民俗学的総合調査を実施し、民俗文化財の保護・活用と文化財保護施策推進に資する基礎資料を作成することを目的とする。

実施場所：県内全域（沖縄本島、本島周辺離島、宮古諸島、八重山諸島）

事業概要：調査地を、沖縄本島北部・中部・南部及び周辺離島、宮古諸島、八重山諸島に区分し、文化財調査員及び調査協力員が行事食に関する総合調査を行った。

調査委員：赤嶺 政 信（琉球大学法文学部教授）

萩原 左 人（琉球大学法文学部教授）

本永 清（県文化財保護審議会審議委員）

波平 エリ子（沖縄大学・沖縄国際大学非常勤講師）

阿利 よし乃（沖縄国際大学非常勤講師）

大城 博 美（沖縄国際大学南島文化研究所支援助手）

井口 学（GREEN EARTH）

調査協力員：4名

② 第59回九州地区民俗芸能大会

事業総額：1,300,000円（県500,000円 団体668,000円 町132,000円）

事業種別：県単独補助事業

事業主体：喜屋武伝統芸能保存会（南風原町）

大会名称：第59回九州地区民俗芸能大会

開催期日：平成29年11月19日（日）

開催場所：芦北町民総合センター しろやまスカイドーム（熊本県葦北郡芦北町）

派遣芸能：「長者の大主」は沖縄県各地に伝わる祝賀舞踊の一つ。登場人物の構成は一定していないが老人老女を中心に、子や孫、曾孫らというふうに、末広がり思想を強く打ち出した長寿延命、五穀豊穡、村落共同体構成員の健康・繁栄を強調する祝賀舞踊である。発生的には、豊年祭（村踊り）が首里王府に吸収・昇華され、国王交代の余興芸能に正式番組として演じられるようになり、廃藩置県前後に再び豊年祭（村踊り）として伝わり、今日のような形で継承されているとみられる。喜屋武の長者の大主の由来については正確な文献はないが、最初の記述では昭和5年の村あしび（遊び）として十五夜で踊られている記録がある。喜屋武の長者の大主の特徴は、セリフに類型的なものや冗漫さがなく、演出・構成ともに無駄がない。また獅子加那志を村の神として崇める筋書きもほかに例が少ない。戦後に衣装や踊りが形作られ、毎年演じ

られている。「長者の大主」は、喜屋武の住民が誇りを持って代々継承してきた民俗芸能で、南風原で唯一現存する「長者の大主」であり、南風原町の民俗芸能を知るうえできわめて貴重である。さらに、平成2年には南風原町無形民俗文化財として指定された。

出演演目：

	芸 能 名	出演団体
1	ひがしはまちょういちくみおんなずもう 東浜町一組女相撲	東浜町一組女相撲保存会（長崎県）
2	たかしきょうげん 高志狂言	高志狂言保存会（佐賀県）
3	ぶぜんかぐら 豊前神楽	植野神楽保存会（大分県豊前神楽保存連合会）（大分県）
4	きばなすもうおど 木花相撲踊り	木花相撲踊り保存会（宮崎県）
5	みなまた ぼうおど 水俣の棒踊り	水俣の棒踊り保存会（熊本県）
6	こうらさんししまい 高良山獅子舞	高良山同志会（福岡県）
7	おど ヨンシー踊り	ヨンシー踊り保存会（鹿児島県）
8	ちやうじや うふしめ 長者の大主	喜屋武伝統芸能保存会（沖縄県）
9	みや うしろすだいこおど 宮の後臼太鼓踊り	宮の後臼太鼓踊り保存会（熊本県）

※ 九州各県から1団体、開催地熊本県は2団体



「長者の大主」（喜屋武伝統芸能保存会）
第59回九州地区民俗芸能大会 本公演より

4. 記念物

(1) 史跡・名勝・文化的景観

本県における国指定の史跡・名勝（特別名勝、国の登録記念物を含む）及び県指定の史跡・名勝の件数は合計122件（平成29年5月1日現在）である。今後も貴重な文化財の適切な保護と保存、活用を図るために、指定文化財の件数を増やしていく必要がある。

史跡・名勝等の復元整備等については、現在、国・県の指定文化財を中心に進めている。平成29年度は国指定史跡の「勝連城跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「フルスト原遺跡」、「中城城跡」、「具志川城跡」（久米島町）、「浦添城跡」、「知念城跡」、「内間御殿」、「伊礼原遺跡」、「糸数城跡」、「中城城跡」（災害復旧）、及び特別名勝「識名園」及び名勝「伊江殿内庭園」において歴史活き活き史跡等総合整備活用整備事業を実施した。また、史跡等買上事業（直接買上）では、国指定史跡の「勝連城跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「大和井」、「中城ハンタ道」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」にて実施し、国指定名勝「伊江御殿別邸庭園」、国指定史跡「伊礼原遺跡」については買上事業の先行取得償還を実施した。国指定史跡の「斎場御嶽」、「具志川城跡」（糸満市）、「北大東島燐鉱山遺跡」において史跡等保存活用計画策定事業をそれぞれ実施した。「北大東村字港区」、「今泊の伝統的集落」で文化的景観保護推進事業を実施した。尚、「今泊の伝統的集落」の文化的景観保護推進事業は平成28年度の繰越事業として実施した。県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」において首里金城町石畳道保存修理事業を、県指定史跡「ミントングスク」において県指定文化財管理事業を実施した。

①受託事業

発掘調査事業

事業名：「首里城跡」発掘調査関連資

事業主体：沖縄県

事業費：33,246,000円

事業内容：内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所の公園整備事業に伴うもので、平成29年度は首里城地区発掘関連資料整理及び、報告書作成業務をおこなった。これにより首里城跡の発掘調査事業を完了した。

②国庫補助事業

ア) 史跡等保存活用計画策定事業

a) 事業名：史跡「斎場御嶽」史跡等保存活用計画策定事業

事業主体：南城市

事業経費：5,127,558円（国4,102,000円、県132,000円、市893,558円）

事業内容：○報告書を作成した。

◇斎場御嶽保存活用計画策定委員会

1)平成29年9月29日（南城市大里庁舎3階）

2)平成29年11月30日（南城市大里庁舎3階）

3)平成30年2月8日（南城市大里庁舎3階）

b) 事業名：史跡「北大東島燐鉱山遺跡」史跡等保存活用計画策定事業

事業主体：北大東村

事業経費：6,063,160円（国3,176,000円、県100,000円、村2,787,160円）

事業内容：○中間報告を取りまとめた。

◇燐鉱山遺跡保存活用計画策定委員会

1)平成29年8月23日（北大東村役場2階会議室）

2)平成29年12月11日(国建第3会議室)

3)平成30年3月5日(国建903会議室)

c)事業名:史跡「具志川城跡」史跡等保存活用計画策定事業

事業主体:糸満市

事業経費:4,418,233円(国3,534,000円、県112,000円、市772,233円)

事業内容:○報告書を作成した。

◇具志川城跡保存活用計画策定委員会

1)平成29年12月18日(糸満市役所)

2)平成30年3月30日(糸満市役所)

イ)歴史活き活き史跡等総合活用整備事業

a)事業名:史跡「勝連城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体:うるま市

事業経費:13,984,115円(国11,187,000円、県475,000円、市2,322,115円)

事業内容:○東の郭の遺構調査をうるま市教育委員会直営により実施した。

○西原御門付近の整備工事に係る基本設計を委託により実施した。

◇勝連城跡整備委員会

1)平成29年11月9日(うるま市役所・史跡「勝連城跡」)

2)平成29年12月26日(うるま市役所・史跡「勝連城跡」)

3)平成30年3月6日(うるま市役所・史跡「勝連城跡」)

4)平成30年3月28日(うるま市役所・史跡「勝連城跡」)

b)事業名:史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体:今帰仁村

事業経費:11,657,713円(国9,326,000円、県408,000円、村1,923,713円)

事業内容:○過年度調査成果の資料整理を、今帰仁村教育委員会直営により実施した。

○外郭修景工事の測量設計及び外郭修景工事は請負により実施した。

◇今帰仁城跡附シイナ城跡整備委員会

平成29年11月30日(今帰仁村歴史文化センター・史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」)

c)事業名:史跡「フルスト原遺跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体:石垣市

事業経費:10,740,000円(国8,592,000円、県375,000円、市1,773,000円)

事業内容:○第1号~3号石塁の修復後の写真測量を石垣市直営で実施した。

○平成31年度の報告書刊行に向け、出土品のうち、陶磁器・土器の整理を行った。整理は分類、報告書に掲載予定の資料を抽出し、実測及び製図の後、仮図を作成した。

d)事業名:史跡「中城城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体:中城村

事業経費:39,958,708円(国31,966,000円、県1,398,000円、村6,594,708円)

事業内容:○中城村教育委員会直営事業として実施した。

○工事の設計、施工管理、岩盤動態状況解析、遺構測量は委託で実施した。

○石積等の整備工事は請負により実施した。

◇中城城跡整備委員会

平成29年11月8日(中城城跡2階会議室)

e)事業名:史跡「具志川城跡(久米島町)」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：久米島町

事業経費：8,031,356円（国6,425,000円、県281,000円、町1,325,356円）

事業内容：○三の郭西側及び二の郭南側城壁根石箇所では岩盤の崩落状況と石積の残存状況を確認し、土嚢やシートで覆い保護した。

○木製階段一帯で行われる祭祀行事を紹介する解説板を1基設置した。

◇具志川城跡整備委員会

1)平成29年10月11日（久米島町博物館講堂・史跡「具志川城跡」）

2)平成29年2月27日（久米島町博物館講堂・史跡「具志川城跡」）

f) 事業名：史跡「浦添城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：浦添市

事業経費：17,194,958円（国13,755,000円、県601,000円、市2,838,958円）

事業内容：○浦添城跡内で確認した石畳道の調査報告書を刊行した。

○整備基本計画書の刊行に向けた中間報告書を作成した。

◇浦添城跡整備委員会

平成30年2月27日（浦添市役所、浦添城跡）

g) 事業名：史跡「知念城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：南城市

事業経費：15,173,318円（国12,000,000円、県350,000円、市2,823,318円）

事業内容：○北側裏門の城壁の遺構確認調査を行った。

○西側城壁の解体積み直しを行った。

◇知念城跡整備委員会

平成30年3月8日（南城市役所大里庁舎、知念城跡）

h) 事業名：史跡「内間御殿」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：西原町

事業経費：5,717,850円（国4,574,000円、県200,000円、町943,850円）

事業内容：○東殿敷地東側に所在していたコンクリート製便所を解体・撤去した。

○東殿周辺でボーリング掘削による地盤調査を実施した。

◇内間御殿整備委員会

1)平成29年11月29日（西原町立図書館・史跡「内間御殿」）

2)平成30年3月27日（西原町立図書館・史跡「内間御殿」）

i) 事業名：特別名勝「識名園」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：那覇市

事業経費：2,374,080円（国1,899,000円、県83,000円、市392,080円）

事業内容：○敷地内の石積補修工事を請負で実施した。

○心字池の水の浄化作業を委託で実施した。

j) 事業名：名勝「伊江殿内庭園」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：那覇市

事業経費：17,610,950円（国14,088,000円、県615,000円、市2,907,950円）

事業内容：○東側急斜地の安全対策工事を実施した。

○庭園の主庭部の実施設計業務を実施した。

◇伊江殿内庭園現場検討会及び整備委員会

平成29年11月7日（首里公民館・名勝伊江殿内庭園）

k) 事業名：史跡「伊礼原遺跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：北谷町

事業経費：22,466,080円（国17,972,000円、県787,000円、町3,707,080円）

事業内容：○史跡指定地内南側の敷地造成工事、実施設計業務、工事現場技術業務を実施した。

◇伊礼原遺跡整備委員会

平成30年2月16日（北谷町役場）

1) 事業名：史跡「糸数城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：南城市

事業経費：2,011,760円（国1,600,000円、県68,000円、市343,760円）

事業内容：○大雨のため崩落した箇所解体工事を市直営で実施した。

◇糸数城跡整備委員会

1)平成29年10月17日（南城市役所大里庁舎・史跡「糸数城跡」）

2)平成30年3月20日（南城市役所大里庁舎・史跡「糸数城跡」）

m) 事業名：史跡「円覚寺跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：沖縄県

事業経費：9,964,740円

事業内容：○平成28年度に実施した発掘調査箇所の埋め戻し工を実施した。

○三門復元に向けて、業務委託により実施設計の作成を行った。

◇史跡「円覚寺跡」復元整備委員会

1)平成29年9月29日（株式会社国建9階会議室）

2)平成30年2月27日（株式会社国建9階会議室）

2)平成30年2月28日（株式会社国建9階会議室）

ウ) 史跡等の土地買上げ事業

a) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等買上げ（直接買上げ）事業

事業主体：うるま市

事業経費：24,537,811円（国19,630,000円、県305,000円、市4,602,811円）

特記事項：824.58㎡ 2筆

b) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等買上げ（直接買上げ）事業

事業主体：今帰仁村

事業経費：8,249,040円（国6,599,000円、県102,000円、村1,548,040円）

買上げ実績：4,663㎡ 3筆

c) 事業名：史跡「大和井」史跡等買上げ（直接買上げ）事業

事業主体：宮古島市

事業経費：6,235,985円（国4,988,000円、県55,000円、市1,192,985円）

買上げ実績：302㎡ 3筆

d) 事業名：史跡「中城ハンタ道」史跡等買上げ（直接買上げ）事業

事業主体：中城村

事業経費：33,340,524円（国26,672,000円、県414,000円、市6,254,524円）

買上げ実績：2,851.03㎡ 7筆

e) 事業名：史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」史跡等買上げ（直接買上げ）事業

事業主体：浦添市

事業経費：24,163,224円（国19,330,000円、県300,000円、市4,533,224円）

買上げ実績：2,384.84㎡ 2筆

- f) 事業名：名勝「伊江御殿別邸庭園」史跡等買上げ（先行取得償還）事業
事業主体：那覇市
事業経費：97,807,000円（国78,245,000円、県1,218,000円、市18,344,000円）
買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。
- g) 事業名：史跡「伊礼原遺跡」史跡等買上げ（先行取得償還）事業
事業主体：北谷町
事業経費：184,320,933円（国147,456,000円、県2,296,000円、町36,864,933円）
買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。

エ) 文化的景観保護推進事業

- a) 事業名：「北大東村字港区」文化的景観保護推進事業
事業主体：北大東村
事業経費：6,973,440円（国5,578,000円、県166,000円、村1,229,440円）
事業内容：○字港地区の景観特性の把握・分析を行い、保存計画を検討し、報告書を作成。
○文化的景観に関するワークショップを行い村民の意識醸成を図った。
○検討委員会で検討した内容を保存計画書として印刷し発行した。

◇北大東村字港地区文化的景観保護推進委員会

- 1) 平成29年6月5日（株式会社国建事務所9階会議室）
- 2) 平成29年11月16日（株式会社国建事務所9階会議室）
- 3) 平成30年3月27日（株式会社国建事務所9階会議室）

- b) 事業名：「今泊の伝統的集落景観」文化的景観保護推進事業（平成28年度繰越事業）
事業主体：今帰仁村
事業経費：4,569,894円（国3,653,000円、県216,000円、村700,894円）
事業内容：○今泊の伝統的集落景観の保存計画を検討し、基礎資料を作成した。
○策定委員を招聘し、今泊の伝統的集落の保存計画の検討を行った。
○印刷会社に発注し、調査報告書・保存計画書を作成した。

◇今泊の伝統的集落景観保存計画策定委員会

- 1) 平成29年9月6日（今帰仁村歴史文化センター）
- 1) 平成30年2月15日（今帰仁村歴史文化センター）

③ 県補助事業

ア) 史跡・名勝保存修理事業

- a) 事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業
事業主体：那覇市
事業経費：600,000円（県300,000円、市300,000円）
事業内容：○石畳道の所々に石のずれや亀裂が、側溝の一部に空洞が確認されており、補修を行った。
○石畳内にある老朽化した使途不明の管を撤去した。

イ) 管理事業

- a) 事業名：県史跡ミントングスク管理事業
事業主体：南城市
事業経費：100,000円（県50,000円、市50,000円）
事業内容：○県史跡ミントングスクの適切な保存と活用を図るために、文化財指定地域の雑草木の除去及び清掃を史跡管理者に委託で実施した。

④史跡・名勝の現状変更等

- 1) 史跡「知念城跡」の現状変更（平成29年4月21日付け28受庁財第4号の2245）
南城市による西側城壁承服工事及び遺構確認調査を文化庁が許可。工事範囲の変更を文化庁が許可（29受庁財第4号の1392）。
- 2) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成29年4月7日付け沖縄県教育委員会指令第18号）
中城村による仮設舞台や仮設テントの設置等、イベントに係る現状変更を沖縄県教育委員会が許可。
- 3) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成29年5月19日付け29受庁財第4号の179）
内閣府沖縄総合事務局による南城郭（東）地区復元整備及び管理用道路の整備を文化庁が許可。
- 4) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成29年6月16日付け29受庁財第4号の201）
中城村による一の郭北側城壁の解体及び発掘調査を文化庁が許可。
- 5) 名勝「川平湾及び於茂登岳」の現状変更（平成29年6月16日付け29受庁財第4号の305）
日本放送協会沖縄放送局による発電シェルターの基礎設置及び工事用モノレール設置を文化庁が許可。
- 6) 史跡「今帰仁城跡」の現状変更（平成29年5月19日付け沖縄県教育委員会指令第22号）
今帰仁村観光協会による仮設舞台や仮設テント等、イベントに係る現状変更を沖縄県教育委員会が許可。
- 7) 史跡「斎場御嶽」の現状変更（平成29年6月16日付け29受庁財第4号の403）
御門口からの休憩舎部分への手摺りの設置を文化庁が許可。
- 8) 史跡「伊波貝塚」の現状変更（平成29年7月21日付け29受庁財第4号の478）
三菱UFJ信託銀行株式会社による北側急傾斜地の落石防護ネットの設置を文化庁が許可。
- 9) 史跡「浦添城跡」の現状変更（平成29年7月21日付け29受庁財第4号の477）
浦添市による内郭西地区城壁確認のための発掘調査を文化庁が許可。
- 10) 県史「龍潭」の現状変更（平成29年6月12日付け沖縄県教育委員会指令第30号）
沖縄県南部土木事務所による石積解体復旧工事及び擁壁工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 11) 史跡「勝連城跡」の現状変更（平成29年7月21日付け29受庁財第4号の513）
うるま市による東の郭及び西原御門付近の石垣遺構の発掘調査を文化庁が許可。
- 12) 史跡「具志川城跡」の現状変更（平成29年7月21日付け29受庁財第4号の526）
久米島町による外郭三の郭南側平場、同西側内壁部、三の郭南側城壁の発掘調査を文化庁が許可。
- 13) 名勝「伊江殿内庭園」の現状変更（平成29年7月21日付け29受庁財第4号の614）
那覇市による東側急傾斜地の法面保護工及び転石落下対策工を文化庁が許可。
- 14) 特別名勝「識名園」の現状変更（平成29年7月21日付け29受庁財第4号の615）
那覇市による石積修復工事、樹木の伐採、仮設の足場設置を文化庁が許可。
- 15) 史跡「内間御殿」の現状変更（平成29年7月21日付け29受庁財第4号の659）
西原町による便所撤去、土質調査を文化庁が許可。
- 16) 県史跡「弁ヶ嶽」の現状変更（平成29年7月19日付け沖縄県教育委員会指令第39号）
那覇市による側溝設置工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 17) 史跡「勝連城跡」の現状変更（平成29年9月15日付け29受庁財第4号の740）
うるま市による案内板改修工事を文化庁が許可。
- 18) 県史「野国貝塚群」の現状変更（平成29年7月21日付け沖縄県教育委員会指令第40号）
沖縄県土木建築部下水道事務所による給水管工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 19) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成29年8月7日付け沖縄県教育委員会指令第44号）
今帰仁村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 20) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成29年8月9日付け沖縄県教育委員会指令第45号）
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 21) 名勝「東平安名崎」の現状変更（平成29年12月8日付け29受庁財第4号の1480）

第11管区海上保安本部によるレーダー施設建設に伴う鉄塔建設、フェンス設置、囲障取替工事を文化庁が同意。

- 22) 史跡「伊礼原遺跡」の現状変更（平成29年9月15日付け29受庁財第4号の855）
沖縄防衛局による埋設石綿管等の撤去を文化庁が同意。
- 23) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成29年9月15日付け29受庁財第4号の863）
中城村による発掘調査、ボーリング調査、樹木の伐採、大型土嚢の設置を文化庁が許可。
- 24) 県史「首里金城町石畳道」の現状変更（平成29年8月21日付け沖縄県教育委員会指令第46号）
那覇市による石畳補修工事、側溝蓋補修工事、側溝空洞充填工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 25) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成29年9月15日付け29受庁財第4号の982）
沖縄県による真珠道の敷地造成工事、構造物撤去工事、植栽工事、電気設備工事等を文化庁が許可。
- 26) 史跡「伊礼原遺跡」の現状変更（平成29年9月15日付け29受庁財第4号の1006）
北谷町による造成工事、植栽工事を文化庁が許可。
- 27) 史跡「糸数城跡」の現状変更（平成29年10月20日付け29受庁財第4号の1037）
南城市による石積み解体工事を文化庁が許可。
- 28) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成29年10月20日付け沖縄県教育委員会指令第62号）
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 29) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成29年10月20日付け沖縄県教育委員会指令第63号）
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 30) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（平成29年11月17日付け29受庁財第4号の1357）
読谷村による既存資料館の解体、東屋の設置、屋外階段の設置を文化庁が許可。
- 31) 県史「龍潭及びその周辺」の現状変更（平成29年10月30日付け沖縄県教育委員会指令第69号）
那覇市による灯火ロウソク入りカップ設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 32) 県史「浜崎貝塚」の現状変更（平成29年12月4日付け沖縄県教育委員会指令第74号にて現状変更の許可を受け、平成30年2月19日付け沖縄県教育委員会指令第5号にて計画変更の承認を受けた。）
伊江村による既存フェンスの撤去及び再設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 33) 史跡「具志川城跡」の現状変更（平成30年1月19日付け29受庁財第4号の1571）
久米島町による三の郭正門前遺構の埋め戻し、三の郭正門前の階段設置、土砂遮水シート設置を文化庁が許可。
※三の郭正門前の階段設置については、入札不調のため設置できなかった。
- 34) 史跡「今帰仁城跡」の現状変更（平成30年1月19日付け29受庁財第4号の1691）
今帰仁村による屋敷跡の遺構復元工事、屋敷跡の芝張り工事を文化庁が許可。
- 35) 史跡「今帰仁城跡」の現状変更（平成30年1月11日付け沖縄県教育委員会指令80号）
今帰仁村による今帰仁グスク桜祭りに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 36) 史跡「具志原貝塚」の現状変更（平成30年2月9日付け29受庁財第4号の1802）
伊江村による遺構の発掘調査を文化庁が許可。
- 37) 史跡「円覚寺跡」の現状変更（平成30年3月9日付け29受庁財第4号の2018）
沖縄県による三門脇の発掘調査箇所の埋め戻しを文化庁が許可。
- 38) 県史「尚岡王誕生地屋敷内 みほそ所」の現状変更（平成30年2月21日付け沖縄県教育委員会指令第3号）
伊是名村による石積み修復工事、植栽工事、園路広場工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 39) 名勝「川平湾及び於茂登岳」の現状変更（平成30年3月9日付け29受庁財第4号の2069）
石垣島地方気象台による埋設されている電力ケーブル用管路の補修を文化庁が同意。
- 40) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成30年3月9日付け沖縄県教育委員会指令第7号）
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 41) 県名「万座毛」の現状変更（平成30年3月20日付け沖縄県教育委員会指令第10号）
恩納村による歌碑の撤去、樹木の伐採、試掘調査、駐車場の整備を沖縄県教育委員会が許可。

(2) 天然記念物

①天然記念物緊急調査 (国庫補助事業)

事業名：天然記念物緊急調査 (ケナガネズミ)

事業総額：2,930 千円 (国 2,344 千円、県 586 千円)

事業主体：沖縄県

事業期間：平成 29 年 4 月 3 日～平成 30 年 3 月 30 日

(平成 29 年度～平成 32 年度までの 4 年間継続事業)

事業目的：沖縄本島北部に生息する日本最大の野生ネズミである。生態や個体数などについては、未だ不明な点が多く近年目撃事例が増えてきているものの、個体数が増加していると明言できる状況にはない。ここ数年、交通事故死が増加しており、今後具体的な保護策を講じる上でも、生息状況を把握するための緊急調査を実施する必要がある。

事務局：沖縄県教育庁文化財課

事業内容：(1) 調査地 沖縄本島北部地域

(2) 調査項目

a) 生息実態調査

b) 行動観察 (繁殖行動、その他樹上での行動)

②史跡等保存活用計画等策定事業 (国庫補助事業)

事業名：史跡等保存管理計画策定 (名護市嘉陽層の褶曲)

事業総額：4,067 千円 (国 3,248 千円、県 102 千円、名護市 717 千円)

事業主体：名護市

事業期間：平成 29 年 4 月 3 日～平成 30 年 3 月 31 日

(平成 28 年度～平成 29 年度までの 2 年間継続事業)

事業目的：国指定天然記念物「名護市嘉陽層の褶曲」について、保存管理及び活用の方法等を検討し保存活用計画を策定する。平成 29 年度は、前年度の測量成果等を踏まえ、計画策定委員会を計 6 回、ワーキング会議を計 2 回、海上視察を 1 回開催して保存活用計画を策定し、報告書を作成した。また、報告書の概要版パンフレットもあわせて作成した。

③天然記念物再生事業 (国庫補助事業)

事業名：天然記念物再生 (久米の五枝のマツ)

事業総額：2,500 千円 (国 2,000 千円、県 112 千円、久米島町 283 千円)

事業主体：久米島町

事業期間：平成 29 年 4 月 28 日～平成 30 年 3 月 29 日

(平成 28 年度～平成 29 年度までの 2 年間継続事業)

事業目的：久米の五枝のマツの適切な保存・管理を図るため、樹木医の診断に基づき、樹勢回復作業 (枯れ枝の除去、グリーンパイル打ち込み肥、害虫駆除薬剤散布) を実施した。その他、既設木道を撤去し、マツへの影響が少ない場所に新たに木道を設置する。

また、平成 28 年度及び平成 29 年度実施した天然記念物再生事業の実施状況や成果をまとめた事業実施報告書 (300 冊) を刊行した。

事業内容：(1) 久米の五枝のマツ樹勢回復業務

(2) 既設木道の撤去および木道新設 (樹勢回復の一環として実施)

(3) 事業実施報告書の刊行

④天然記念物再生事業 (国庫補助事業)

事業名：天然記念物再生 (慶佐次湾のヒルギ林)

事業総額：11,746 千円 (国 9,397 千円、県 527 千円、東村 1,822 千円)

事業主体：東村

事業期間：平成 29 年 6 月 13 日～平成 30 年 2 月 28 日

(平成 28 年度～平成 30 年度までの 3 年間継続事業)

事業目的：河川周辺からの赤土等の流入による天然記念物植生域の陸地化等による外来生物の侵入、植生分布範囲の拡大による河川生態系への劣化が懸念されているため、外来生物及び特定外来生物の分布調査を行い、駆除及び防除策を実施し、今後の適正な維持管理体制を構築する。

⑤天然記念物再生事業（国庫補助事業）

事業名：天然記念物再生（平久保のヤエヤマシタン）
事業総額：3,097千円（国2,352千円、県132千円、石垣市613千円）
事業主体：石垣市
事業期間：平成29年4月3日～平成30年3月5日
（平成29年度～平成30年度までの2年間継続事業）

事業目的：平成29年度当初の計画ではヤエヤマシタンに寄生するシタンヒメヨコバイ駆除のため薬剤散布の実施予定であったが、タカサゴシロアリの食害によって一層衰退傾向にあることが樹木医の診断の結果わかった。そのためタカサゴシロアリ駆除を優先的に行った。シロアリの蟻道に即効性の殺蟻剤の流し込み、樹木のはがれた部分を水性塗料で覆う、洞を防蟻ウレタンでふさぐ、シロアリ被害の再発を防ぐため樹幹の枯損部の選定を行うなど、シロアリの駆除及び予防を実施した。また指定木2本を中心に完熟堆肥を投与し土壌改良を行った。

⑥天然記念物食害対策事業（国庫補助事業）

事業名：国指定天然記念物食害対策事業（ノグチゲラ）
事業総額：4,926千円（国3,284千円、県246千円、国頭村1,396千円）
事業主体：国頭村
事業期間：平成29年4月3日～平成30年3月30日

事業目的：国指定特別天然記念物ノグチゲラを含めた鳥類による農作物（柑橘類）への食害状況の把握と、食害防止のために設置される保護網にノグチゲラが羅網し、滅失する事に対して、より効果的な保護網の材質や設置などについての検証実験を行うものである。保護網の実証実験については、ノグチゲラの羅網防止効果とともに、将来の保護網の普及を考慮し、より安価で設置が容易であるという観点についても検討を行う。

具体的には、周辺環境のモニタリング調査（畑周辺の植生及び鳥類調査）、保護網実証、農家へのヒアリング、目視や自動撮影カメラ等による食害モニタリングを行った。

⑦歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業（国庫補助事業）

事業名：史跡等・登録記念物・歴史の道保存活用整備（田港御願の植物群落）
事業総額：2,574千円（県89千円、今帰仁村426千円）
事業主体：大宜味村
事業期間：平成29年6月1日～平成30年3月30日

事業目的：指定地内の植生調査及び植生相調査を実施し植生図を作成した。また指定地内の様子や上空からのドローン撮影を行った。また、植生調査の成果を基に植生図、クスノハカエデのイラストなどを記載し、わかりやすい説明文を設置し、幅広く多くの人に理解・関心と保存への理解を促すよう努めた。

⑧天然記念物関連事業（沖縄県補助事業）

事業名：今泊のコバテイシ天然記念物再生事業（今泊のコバテイシ）
事業総額：2,160千円（県1,065千円、今帰仁村1,095千円）
事業主体：今帰仁村
事業期間：平成29年6月15日～平成30年3月26日

事業目的：沖縄県天然記念物今泊のコバテイシの樹勢回復事業。樹木医の診断を元に、伸びすぎた枝等の剪定や追肥・病害虫の防除、不朽部の除去を行い、重みに耐えられない枝に支柱を設置した。また当該天然記念物の周辺の土壌改良を行った。

⑤天然記念物の現状変更等

- 1) 【国天】仲の神島海鳥繁殖地の現状変更(工作物設置)申請 (H29.4.7 進達)
申請者(日付):国立大学法人九州大学 総長 久保千春 (H29.3.14)
許可(期間):平成29年4月7日 付け 沖縄県教育委員会指令第20号 (H29.11.1 ~H33.3.31)
- 2) 【県天】フタオチョウ、クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H29.4.3 許可)
申請者(日付):沖縄防衛局長 中嶋浩一郎 (H29.3.29)
許可(期間):平成29年4月3日 付け 沖縄県教育委員会指令第19号 (H29.4.3 ~H30.3.31)
- 3) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H29.4.13 進達)
申請者(日付):北中城村長 新垣邦男 (H29.4.5)
許可(期間):平成29年5月19日 付け 29受庁財第4号の64 (H29.5.19 ~H32.3.31)
- 4) 【国天】オカヤドカリの現状変更(生態調査及び捕獲)申請 (H29.4.18 進達)
申請者(日付):琉球大学理学部海洋自然科学科生物系竹村明洋 (H29.4.3)
許可(期間):平成29年5月19日 付け 29受庁財第4号の138 (H29.5.19 ~H31.3.31)
- 5) 【国天】米原のヤエヤマヤシ群落の現状変更(動物調査及び工作物設置)協議 (H29.5.1 進達)
協議者(日付):環境省那覇自然環境事務所長 (H29.3.13)
同意(期間):平成29年6月16日 付け 29受庁財第4号の207 (H29.6.16 ~H29.7.31)
- 6) 【国天】セマルハコガメの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H29.5.10 許可)
申請者(日付):東京慈恵会医科大学熱帯医学講座嘉糠洋陸 (H29.4.7)
許可(期間):平成29年5月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第21号 (H29.6.1 ~H31.3.31)
- 7) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(支流の掘削)申請 (H29.5.24 進達)
申請者(日付):沖縄県知事 翁長雄志 (H29.4.26)
許可(期間):平成29年6月16日 付け 29受庁財第4号の404 (H29.6.16 ~H31.6.15)
- 8) 【県天】クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H29.5.19 許可)
申請者(日付):千葉県立中央博物館 (H29.5.11)
許可(期間):平成29年5月19日 付け 沖縄県教育委員会指令第24号 (H29.5.19 ~H31.5.18)
- 9) 【国天】キシノウエトカゲの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H29.5.17 許可)
申請者(日付):琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授 戸田守 (H29.5.12)
許可(期間):平成29年5月17日 付け 沖縄県教育委員会指令第23号 (H29.5.17 ~H31.7.31)
- 10) 【県天】イボイモリの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H29.5.30 許可)
申請者(日付):琉球大学教育学部 准教授 富永篤 (H29.5.15)
許可(期間):平成29年5月30日 付け 沖縄県教育委員会指令第28号 (H29.5.30 ~H31.3.31)
- 11) 【国特】ノグチゲラ他9件の現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H29.5.19 進達)
申請者(日付):沖縄県知事 翁長雄志 (H29.5.19)
許可(期間):平成29年6月16日 付け 29受庁財第4号の416 (H29.6.16 ~H30.6.30)
- 12) 【国天】宮良川のヒルギ林の現状変更(毀損木の採取)申請 (H29.5.31 進達)
申請者(日付):八重山上布保存会 会長 新垣幸子 (H29.5.17)
許可(期間):平成29年7月21日 付け 29受庁財第4号の480 (H29.7.21 ~H30.7.31)
- 13) 【県天】クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H29.6.9 許可)
申請者(日付):環境省那覇自然環境事務所長 (H29.5.31)
許可(期間):平成29年6月9日 付け 沖縄県教育委員会指令第31号 (H29.6.9 ~H30.3.30)
- 14) 【県天】イボイモリ他5件の現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H29.6.9 許可)
申請者(日付):沖縄県知事 翁長雄志 (H29.6.5)
許可(期間):平成29年6月9日 付け 沖縄県教育委員会指令第32号 (H29.6.9 ~H32.6.30)
- 15) 【県天】クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H29.6.14 許可)
申請者(日付):筑波大学生命環境系教授本多正尚 (H29.6.6)
許可(期間):平成29年6月14日 付け 沖縄県教育委員会指令第33号 (H29.6.14 ~H30.6.13)
- 16) 【国天】宮良川のヒルギ林の現状変更(土砂流出防止)申請 (H29.6.16 進達)
申請者(日付):沖縄県八重山土木事務所 所長 東浜安邦 (H29.6.9)
許可(期間):平成29年7月21日 付け 29受庁財第4号の568 (H29.7.21 ~H31.3.31)
- 17) 【国天】仲間川天然保護区域の現状変更(植生及び環境調査)申請 (H29.6.20 許可)
申請者(日付):大阪大学未来戦略機構第1部門 特任助教 瀧上ゆかり (H29.6.8)
許可(期間):平成29年6月20日 付け 沖縄県教育委員会指令第34号 (H29.7.1 ~H30.3.31)

- 18) 【国天】仲間川天然保護区域の現状変更(生育状況調査)協議 (H29.6.20 進達)
協議者(日付):沖縄森林管理署長 清水俊二 (H29.6.7)
同意(期間):平成29年7月21日 付け 29受庁財第4号の569 (H29.7.21 ~H32.7.20)
- 19) 【県天】フタオチョウ、コノハチョウの現状変更(採取及び撮影)申請 (H29.6.22 許可)
申請者(日付):(株)文一総合出版 (H29.6.20)
許可(期間):平成29年6月22日 付け 沖縄県教育委員会指令第35号 (H29.6.22 ~H32.6.30)
- 20) 【国天】平久保のヤエヤマシタンの現状変更(樹勢回復及び土壌改良)申請 (H29.6.28 進達)
申請者(日付):石垣市長 中山義隆 (H29.6.19)
許可(期間):平成29年7月21日 付け 29受庁財第4号の694 (H29.7.21 ~H31.3.31)
- 21) 【県天】今泊のコバテイシの現状変更(樹勢回復及び土壌改良)申請 (H29.6.30 許可)
申請者(日付):今帰仁村長 喜屋武治樹 (H29.6.21)
許可(期間):平成29年6月30日 付け 沖縄県教育委員会指令第37号 (H29.6.30 ~H31.3.31)
- 22) 【県天】ミヤコサワガニの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H29.7.3 許可)
申請者(日付):沖縄県農林水産部宮古農林水産振興センター所長植田修 (H29.6.15)
許可(期間):平成29年7月3日 付け 沖縄県教育委員会指令第38号 (H29.7.3 ~H30.3.31)
- 23) 【国天】オカヤドカリの現状変更(生息状況調査)申請 (H29.7.19 許可)
申請者(日付):東海大学海洋学部 准教授 土井航 (H29.6.27)
許可(期間):平成29年7月19日 付け 沖縄県教育委員会指令第41号 (H29.7.19 ~H30.3.31)
- 24) 【国天】星立天然保護区域及びオカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H29.8.22 進達)
申請者(日付):沖縄県土木建築部 八重山土木事務所長 東浜安邦 (H29.6.29)
許可(期間):平成29年9月15日 付け 29受庁財第4号の981 (H29.9.15 ~H32.3.31)
- 25) 【県天】ミヤコサワガニの現状変更(生態調査)申請 (H29.7.19 許可)
申請者(日付):沖縄県立芸術大学 准教授 藤田喜久 (H29.7.1)
許可(期間):平成29年7月19日 付け 沖縄県教育委員会指令第42号 (H29.7.19 ~H30.10.30)
- 26) 【県天】コノハチョウ、嘉津字岳安和岳および八重岳自然保護区の現状変更(飼育、食草調査)申請 (H29.7.20 許可)
申請者(日付):琉球大学農学部 辻瑞樹 (H29.6.21)
許可(期間):平成29年7月20日 付け 沖縄県教育委員会指令第43号 (H29.7.20 ~H31.3.31)
- 27) 【国天】久米の五枝のマツの現状変更(樹勢回復等)申請 (H29.8.21 進達)
申請者(日付):久米島町長 大田治雄 (H29.6.16)
許可(期間):平成29年10月20日 付け 29受庁財第4号の963 (H29.3.1 ~H30.3.31)
- 28) 【国天】オカヤドカリの現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H29.8.9 進達)
申請者(日付):環境サイエンス株式会社 エリック・ニューマン (H29.7.25)
許可(期間):平成29年9月15日 付け 29受庁財第4号の918 (H29.9.15 ~H30.9.30)
- 29) 【県天】イボイモリ他3件の現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H29.8.9 許可)
申請者(日付):環境サイエンス株式会社 エリック・ニューマン (H29.7.25)
許可(期間):平成29年8月9日 付け 沖縄県教育委員会指令第47号 (H29.8.9 ~H30.9.30)
- 30) 【国特】ノグチゲラ他7件の現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H29.8.21 進達)
申請者(日付):N.O.M.E.S株式会社 代表取締役 長根亜紀子 (H29.7.26)
許可(期間):平成29年9月15日 付け 29受庁財第4号の962 (H29.9.15 ~H30.3.31)
- 31) 【国天】星立天然保護区域の現状変更(境界標設置)申請 (H29.8.21 許可)
申請者(日付):竹富町長 西大舩高句 (H29.7.25)
許可(期間):平成29年8月21日 付け 沖縄県教育委員会指令第50号 (H29.8.21 ~H31.3.31)
- 32) 【県天】万座毛石灰岩植物群落の現状変更(駐車場整備)申請 (H29.8.21 許可)
申請者(日付):恩納村長 長浜善巳 (H29.7.31)
許可(期間):平成29年8月21日 付け 沖縄県教育委員会指令第49号 (H29.8.21 ~H33.3.31)
- 33) 【国天】トゲネズミの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H29.8.28 許可)
申請者(日付):宮崎大学 フロンティア科学実験総合センター 加藤丈司 (H29.8.10)
許可(期間):平成29年8月28日 付け 沖縄県教育委員会指令第53号 (H29.8.28 ~H32.3.31)
- 34) 【国天】オカヤドカリ、キシノウエトカゲの現状変更(イタチ捕獲器設置)計画変更 (H29.9.7 進達)
届出者(日付):八千代エンジニアリング株式会社 沖縄事務所 河内紀浩 (H29.8.4)
承認(期間):平成29年9月25日 付け 29受庁財第4号の1050 (H29.3.10 ~H30.3.31)
- 35) 【国天】オカヤドカリの現状変更(マングース捕獲器設置)期間変更 (H29.9.7 進達)
届出者(日付):八千代エンジニアリング株式会社 沖縄事務所 所長阿川泰之 (H29.9.7)
承認(期間):平成29年9月15日 付け 29受庁財第4号の1049 (H28.9.16 ~H29.12.8)

- 36) 【県天】イボイモリ他5件の現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H29.9.22 許可)
 申請者(日付):N.O.M.E.S株式会社 代表取締役 長根亜紀子 (H29.9.15)
 許可(期間):平成29年9月22日 付け 沖縄県教育委員会指令第54号 (H29.9.22 ~H30.8.31)
- 37) 【県天】嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更(電柱設置)申請 (H29.10.20 許可)
 申請者(日付):沖縄電力株式会社 名護支店長 (H29.9.8)
 許可(期間):平成29年10月20日 付け 沖縄県教育委員会指令第66号 (H29.10.20 ~H29.10.31)
- 38) 【県天】クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H29.9.29 許可)
 申請者(日付):琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授 戸田守 (H29.9.28)
 許可(期間):平成29年9月29日 付け 沖縄県教育委員会指令第55号 (H29.9.29 ~H31.9.28)
- 39) 【国天】仲の神島海鳥繁殖地の現状変更(生息状況調査)申請 (H29.9.29 許可)
 申請者(日付):東海大学沖縄地域研究センター 河野裕美 (H29.9.22)
 許可(期間):平成29年9月29日 付け 沖縄県教育委員会指令第57号 (H29.9.29 ~H31.3.31)
- 40) 【国特】カンムリワシの現状変更(生態調査)計画変更 (H29.9.29 承認)
 届出者(日付):東海大学沖縄地域研究センター 河野裕美 (H29.9.22)
 承認(期間):平成29年9月29日 付け 沖縄県教育委員会指令第56号 (H29.9.29 ~H30.3.31)
- 41) 【県天】万座毛石灰岩植物群落の現状変更(試料採取)申請 (H29.10.6 許可)
 申請者(日付):農業・食品産業技術総合研究機構 遺伝子センター 根本博 (H29.9.11)
 許可(期間):平成29年10月6日 付け 沖縄県教育委員会指令第58号 (H29.10.1 ~H29.10.31)
- 42) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(試料採取)申請 (H29.10.11 進達)
 申請者(日付):学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 ピーター・グルース (H29.8.21)
 許可(期間):平成29年11月17日 付け 29受庁財第4号の1216 (H29.11.17 ~H31.4.30)
- 43) 【国天】セマルハコガメの現状変更(永年飼養)申請 (H29.10.13 許可)
 申請者(日付):与那国町教育委員会 教育長職務代理者 尾辻美佐恵 (H29.9.28)
 許可(期間):平成29年10月13日 付け 沖縄県教育委員会指令第59号 (H29.10.13 ~個体滅失)
- 44) 【国天】セマルハコガメの現状変更(永年飼養)申請 (H29.10.13 許可)
 申請者(日付):与那国町立比川小学校 校長 與島康仁 (H29.9.26)
 許可(期間):平成29年10月13日 付け 沖縄県教育委員会指令第60号 (H29.10.13 ~個体滅失)
- 45) 【国天】セマルハコガメの現状変更(永年飼養)申請 (H29.10.13 許可)
 申請者(日付):与那国町立与那国小学校 校長 早田実 (H29.9.28)
 許可(期間):平成29年10月13日 付け 沖縄県教育委員会指令第61号 (H29.10.13 ~個体滅失)
- 46) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(河道整備)計画変更 (H29.10.12 進達)
 届出者(日付):沖縄県知事 翁長雄志 (H29.10.5)
 承認(期間):平成29年10月13日 付け 29受庁財第4号の1224 (H29.10.13 ~H31.10.20)
- 47) 【県天】宇根の大ソテツの現状変更(樹勢回復)申請 (H29.10.18 許可)
 申請者(日付):久米島町長 大田治雄 (H29.9.29)
 許可(期間):平成29年10月18日 付け 沖縄県教育委員会指令第64号 (H29.10.18 ~H29.11.30)
- 48) 【国特】カンムリワシ他6件の現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H29.10.20 許可)
 申請者(日付):公益財団法人 山階鳥類研究所 壬生基博 (H29.10.6)
 許可(期間):平成29年10月20日 付け 沖縄県教育委員会指令第67号 (H30.1.1 ~H32.12.31)
- 49) 【県天】アマミヤマンギの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H29.10.20 許可)
 申請者(日付):公益財団法人 山階鳥類研究所 壬生基博 (H29.10.6)
 許可(期間):平成29年10月20日 付け 沖縄県教育委員会指令第65号 (H30.1.1 ~H32.12.31)
- 50) 【県天】イボイモリ、クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H29.11.10 許可)
 申請者(日付):北部国道事務所長 崎間斉 (H29.10.10)
 許可(期間):平成29年11月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第83号 (H29.11.10 ~H32.11.9)
- 51) 【県天】伊是名城跡のイワヒバ群落他2件の現状変更(植生調査及び試料採取)申請 (H29.10.30 許可)
 申請者(日付):文化庁非常勤調査員 寺田仁志 (H29.10.24)
 許可(期間):平成29年10月30日 付け 沖縄県教育委員会指令第68号 (H29.11.1 ~H30.3.31)
- 52) 【県天】クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H29.10.30 許可)
 申請者(日付):北部国道事務所長 崎間斉 (H29.10.10)
 許可(期間):平成29年10月30日 付け 沖縄県教育委員会指令第70号 (H29.10.30 ~H32.10.29)
- 53) 【県天】万座毛石灰岩植物群落の現状変更(試料採取)申請 (H29.11.2 許可)
 申請者(日付):京大大学生態学研究センター 川北篤 (H29.10.17)
 許可(期間):平成29年11月2日 付け 沖縄県教育委員会指令第71号 (H29.11.2 ~H30.11.1)

- 54) 【国天】ヤンバルクイナの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H30.1.31 許可)
 申請者(日付):公益財団法人 山階鳥類研究所 壬生基博 (H29.11.1)
 許可(期間):平成30年1月31日 付け 沖縄県教育委員会指令第2号 (H30.1.31 ~H33.1.30)
- 55) 【県天】クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び計測等)申請 (H29.12.11 許可)
 申請者(日付):筑波大学生命環境系教授本多正尚 (H29.11.20)
 許可(期間):平成29年12月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第77号 (H30.1.1 ~H30.12.31)
- 56) 【県天】万座毛石灰岩植物群落の現状変更(侵入植物の除伐等)申請 (H29.12.28 許可)
 申請者(日付):恩納村長 長浜善巳 (H29.11.21)
 許可(期間):平成29年12月28日 付け 沖縄県教育委員会指令第84号 (H29.12.28 ~H30.3.31)
- 57) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H29.12.20 進達)
 申請者(日付):沖縄県農林水産部北部農林水産振興センター 所長 金城寛信 (H29.11.15)
 許可(期間):平成30年1月19日 付け 29受庁財第4号の1711 (H30.1.19 ~H33.1.18)
- 58) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H29.12.21 進達)
 申請者(日付):沖縄県土木建築部 北部土木事務所長 真栄里嘉孝 (H29.10.30)
 許可(期間):平成30年1月19日 付け 29受庁財第4号の1728 (H30.1.19 ~H33.1.18)
- 59) 【県天】インカワガエル他2件の現状変更(一時捕獲及び計測等)申請 (H29.12.8 許可)
 申請者(日付):千木良芳範 (H29.11.29)
 許可(期間):平成29年12月8日 付け 沖縄県教育委員会指令第82号 (H29.12.8 ~H32.12.7)
- 60) 【国特】ノグチゲラ他8種の現状変更(外来種捕獲器設置)申請 (H29.12.22 進達)
 申請者(日付):沖縄県知事 翁長雄志 (H29.12.11)
 許可(期間):平成30年1月19日 付け 29受庁財第4号の1714 (H30.1.19 ~H32.6.30)
- 61) 【県天】クロイトカゲモドキ他5種の現状変更(外来種捕獲器設置)申請 (H29.12.28 許可)
 申請者(日付):沖縄県知事 翁長雄志 (H29.12.11)
 許可(期間):平成29年12月28日 付け 沖縄県教育委員会指令第85号 (H29.12.28 ~H32.6.30)
- 62) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.1.25 進達)
 申請者(日付):南西環境研究所 代表取締役 田中順一 (H29.12.18)
 許可(期間):平成30年2月9日 付け 29受庁財第4号の1869 (H30.2.9 ~H30.3.30)
- 63) 【国天】久米の五枝のマツの現状変更(支柱設置)申請 (H30.1.3 許可)
 申請者(日付):久米島町長 大田治雄 (H29.12.21)
 許可(期間):平成30年1月30日 付け 沖縄県教育委員会指令第1号 (H30.1.30 ~H30.3.31)
- 64) 【国天】オカヤドカリの現状変更(採取)申請 (H30.1.25 進達)
 申請者(日付):沖縄オカヤドカリ取扱商組合 組合長 新垣昭 (H30.1.22)
 許可(期間):平成30年2月9日 付け 29受庁財第4号の1870 (H30.2.9 ~H30.9.30)
- 65) 【国天】リュウキュウヤマガメの現状変更(永年飼養・教育普及)申請 (H30.2.16 許可)
 申請者(日付):沖縄県立向陽高等学校 校長 儀間清浩 (H29.12.25)
 許可(期間):平成30年2月16日 付け 沖縄県教育委員会指令第4号 (H30.2.16 ~ 個体滅失)
- 66) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.3.14 進達)
 申請者(日付):金武町長 仲間一 (H30.2.26)
 (期間):平成30年4月20日 付け 29受庁財第4号の2220 (H30.4.20 ~H35.3.31)
- 67) 【国特】ノグチゲラ他6件の現状変更(マンゲース捕獲器設置)期間変更 (H30.3.16 進達)
 届出者(日付):N.O.M.E.S株式会社 代表取締役 長根亜紀子 (H30.3.13)
 承認(期間):平成30年3月28日 付け 29受庁財第4号の2241 (H29.9.15 ~H30.8.31)
- 68) 【国天】南大東島東海岸植物群落の現状変更(工作物設置)申請 (H30.3.26 許可)
 申請者(日付):南大東村長 仲田建匠 (H30.3.16)
 許可(期間):平成30年3月26日 付け 沖縄県教育委員会指令第11号 (H30.3.26 ~H30.6.30)
- 69) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)期間変更 (H30.3.29 進達)
 届出者(日付):南西環境研究所 代表取締役 田中順一 (H30.3.23)
 (期間):平成30年3月30日 付け 29受庁財第4号の2323 (H30.2.9 ~H30.12.31)

5. 埋蔵文化財

埋蔵文化財は、全国各地の歴史や文化の成り立ちを理解する上で欠くことのできない、国民共有の貴重な歴史的財産である。沖縄県には現時点で約 4,000 か所が確認されており、旧石器時代から近代に至る時期の貝塚や集落跡、古墓、グスク等、その種別は多岐にわたる。

埋蔵文化財は他の文化財同様、文化財保護法（以下「法」という。）による保護対象となっており、その規定により各種手続き、処理が行われる。

その基礎作業として、教育委員会は表面踏査や試掘調査等の予備調査により、埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の所在状況の把握を行い、その情報を広く周知させる（法第 95 条 1）。

また、周知の埋蔵文化財包蔵地外で新たに埋蔵文化財が発見された場合は、発見者から教育委員会あて遺跡発見届・通知を行う（民間：法第 96 条、国・地方自治体：法第 97 条）。

遺構や遺物の状況から重要と思われる埋蔵文化財に関しては、保存目的の範囲確認調査により詳細なデータを収集し、将来の文化財指定の際の基礎資料とする。

周知の埋蔵文化財包蔵において諸開発が計画された場合、開発者は当該市町村教育委員会あてに文化財の有無・取り扱いについて照会・協議を行い（開発協議）、その取り扱いについて両者で調整を行う（民間：法第 93 条、国・地方自治体：法第 94 条）。その中で開発者及び地域住民に埋蔵文化財保護の趣旨を十分説明し理解と協力を求め、必要に応じ試掘・確認調査を実施し、埋蔵文化財の範囲・性格等を把握する。開発者と協議調整の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難となった場合は、記録保存の措置を講じるための緊急発掘調査を実施する（法第 99 条 1）。

その他発掘調査として、大学や博物館等が主体となって行う学術目的の調査がある（法第 92 条）。

これらの調査に際しては、調査主体者から沖縄県教育委員会あてに発掘調査の着手届、終了後には終了届を提出する。

その他、石灰岩採掘等の鉱業関連事業に際しては、鉱業法の規定により、鉱業権者から沖縄県知事あてに文化財の有無について照会を行う（鉱業権法第 24 条）。

発掘調査により出土した遺物は、遺失物扱いとなることから、所有者が明らかな場合は返還を行い（法第 103 条）、所有者不明の場合は調査終了後、速やかに遺失物法の規定に基づき、所轄する警察署長に届け出る（遺失物法第 4 条第 1 項）。警察署長は、遺失物が文化財と認められる場合は、県教育委員会に提出する（法第 101 条）。県教育委員会は、警察署長提出の物件が文化財かどうかを監査し（法第 102 条）、文化財と認められた場合、警察署長は 6 か月間その旨を公告する（遺失物法第 7 条第 4 項）。その間、所有者が名乗り出なければ出土品の所有権は県に帰属する（法第 105 条）。出土品について県以外が保有する場合は、沖縄県教育委員会あてに出土文化財譲与申請を行う（法第 107 条）。

(1) 開発協議（文化財の有無及び取扱いの照会・協議）

（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

項目 No.	所在地	開発等の種別	事業者（上段） 進達者（下段）	回答内容（所在文化財）
1				

(2) 文化財保護法第93条及び94条に係る発掘届・通知一覧

（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
1	高宮古島遺跡 ほか1遺跡	豊見城市	個人	住宅	工事立会
2	与那覇グスク	南風原町	沖縄電力株式会社 送電本部 電力流通部 中央電力所長	電気工事	工事立会
3	普天間石川原遺跡 ほか5遺跡	宜野湾市	沖縄防衛局長	住宅	発掘調査
4	与那堀遺跡	糸満市	個人	住宅	発掘調査
5	与那堀遺跡	糸満市	プカあや	住宅	発掘調査
6	ウブドゥマーリヤ特攻艇秘匿壕群	宮古島市	株式会社 大米建設	その他開発	発掘調査
7	普天間石川原第二遺跡 ほか3遺跡	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他開発	発掘調査
8	新城下原第二遺跡	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他開発	慎重工事
9	上田古島遺跡	豊見城市	個人	住宅	工事立会
10	ヤニバマ遺物散布地 ほか4遺跡	名護市	沖縄防衛局長	その他開発	発掘調査
11	思原長佐久遺物散布地	名護市	沖縄防衛局長	その他開発	工事立会
12	大嶽城跡	宮古島市	航空自衛隊 宮古駐屯基地司令	その他開発	発掘調査
13	上地番所前遺跡	宮古島市	個人	住宅	発掘調査
14	上田古島遺跡	豊見城市	個人	住宅	工事立会
15	綾門大道跡	那覇市	沖縄県知事	学校	工事立会
16	後原古墓群	与那原町	個人	墓地	慎重工事
17	浜崎貝塚	伊江村	伊江村長	公園造成	発掘調査
18	識名4丁目の壕	那覇市	那覇市長	その他開発	工事立会
19	座安古島遺跡 ほか1遺跡	豊見城市	新拓産業	その他開発	工事立会
20	翁長原遺物散布地(B地点)	豊見城市	個人	住宅	工事立会
21	保栄茂古島遺跡	豊見城市	保栄茂自治会長	その他開発	工事立会
22	登野城遺跡	石垣市	WBFリゾート沖縄株式会社	その他建物	発掘調査
23	大堂原遺跡	名護市	沖縄県知事	道路	工事立会
24	親泊原遺跡	今帰仁村	今帰仁村長	その他建物	慎重工事
25	メーヌパヌウガンジュ遺物散布地	今帰仁村	今帰仁村長	その他開発	慎重工事

項目 No.	遺 跡 名	所 在 地	工 事 主 体	工 事 目 的	回 答 内 容
27	安和貝塚	名護市	沖縄県知事	道路	工事立会
28	真玉橋古島A遺跡	豊見城市	内閣府沖縄総合事務局 南部国道事務所長	その他開発	工事立会
29	大原陣地壕	宮古島市	沖縄県土木建築部 宮 古土木事務所長	道路	発掘調査
30	那覇市大嶺海岸の石切場等跡	那覇市	国交省 大阪航空局長	その他開発	工事立会
31	横太原古墓群	今帰仁村	noorve 株式会社	その他建物	慎重工事
32	末吉遺跡	那覇市	那覇市長	公園造成	発掘調査
33	上田古島遺跡	豊見城市	個人	住宅	工事立会
34	中野貝塚	竹富町	竹富町長	道路	慎重工事
35	豊見城グスク	豊見城市	豊見城市長	その他開発	工事立会
36	溝原貝塚	名護市	日本年金機構	その他建物	工事立会
37	仲栄真グスク	南城市	南城市長	その他建物	慎重工事
38	兼久仲原遺跡	嘉手納町	第718 施設中隊 施設 管理部 環境保全課長	道路 その他開発	発掘調査
39	千代田カギモリ原の壕 ほか1 遺跡	宮古島市	沖縄防衛局長	道路 宅地造成 ガス 電気 水道	発掘調査
40	ナングシク遺跡群	名護市	沖縄県土木建築部 中部 土木事務所長	公園造成	工事立会
41	島ノ前原遺跡	与那原町	個人	宅地造成	工事立会
42	護岸の銃座	うるま市	沖縄県土木建築部 中 部土木事務所長	その他建物	発掘調査
43	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	住宅	慎重工事
44	大嶺村跡 ほか1 遺跡	那覇市	沖縄県知事	その他開発	工事立会
45	翁長原遺物散布地	豊見城市	個人	住宅	工事立会
46	澤川原遺物散布地	南城市	個人	住宅	慎重工事
47	那底の地下壕	宮古島市	沖縄県土木建築部 宮 古土木事務所長	その他開発	慎重工事
48	久茂地村跡	那覇市	那覇市長	その他建物	発掘調査
49	手登根島之上原遺物散布地	南城市	個人	住宅	慎重工事
50	宜野湾並松街道	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他建物	工事立会
51	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	住宅	慎重工事
52	港川遺跡	八重瀬町	八重瀬町長	その他開発	工事立会
53	与那良遺跡	竹富町	沖縄県知事	土地区画整理	工事立会
54	前田・経塚近世古墓群	浦添市	浦添市長	公園造成	発掘調査
55	思原遺跡	名護市	沖縄防衛局長	その他開発	工事立会
56	首里城跡 ほか1 遺跡	那覇市	沖縄県知事	公園造成	工事立会
57	大堂原西遺跡	名護市	個人	住宅	慎重工事

項目 No.	遺 跡 名	所 在 地	工 事 主 体	工 事 目 的	回 答 内 容
58	喜友名後原丘陵古墓群	宜野湾市	個人	その他開発	発掘調査
59	島ノ上原古島遺跡	与那原町	与那原町長	水道	慎重工事
60	宇地泊西原古墓群	宜野湾市	個人	その他開発	発掘調査
61	兼久仲原遺跡	嘉手納町	第718 施設中隊 施設 管理部 環境保全課長	その他開発	発掘調査
62	天仁屋原遺跡	名護市	天仁屋区長	その他建物	工事立会
63	宜野湾東原遺跡	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他開発 その 他建物	工事立会
64	宜保後原遺物散布地	豊見城市	個人	その他建物	工事立会
65	高腰遺跡	宮古島市	宮古島市長	その他開発	工事立会
66	中原同原遺跡 ほか5遺跡	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他開発	発掘調査
67	長堂原遺物散布地	豊見城市	個人	住宅	工事立会
68	浜崎貝塚	伊江村	伊江村長	観光開発	工事立会
69	識名原遺跡	那覇市	個人	住宅	発掘調査
70	楚辺トングワーマーチャー古墓群	那覇市	株式会社 えんむすび ハウジング	その他開発	工事立会
71	登野城遺跡	石垣市	個人	その他開発	発掘調査
72	楚辺徳地原遺跡A	読谷村	沖縄防衛局長	その他建物	発掘調査

(3) 文化財保護法第96条及び97条に係る遺跡発見届・通知一覧

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

項目 No.	発 見 地	遺跡名	届出・通知者	原 因	措置状況
1	宮古島市平良字荷川取崎名原 555-1	荷川取崎名原の 古墓	株式会社 大米建設	土木工事	発掘調査
2	西原町字小波津836-1	小波津後原古墓 群A地点	有限会社 西喜建設	その他	発掘調査
3	宮古島市城辺字下里添1042-148	西更竹の住民避難 壕	宮古農林水産振興セン ター	その他	発掘調査
4	宮古島市下地嘉手苺733-5	嘉手苺アガリノ ミ子の古墓	宮古農林水産振興セン ター	その他	発掘調査
5	那覇市首里真和志地内	首里当蔵旧水路	沖縄県南部土木事務所	土木工事	発掘調査
6	宮古島市城辺字長間645	長間西更竹の陣 地壕	宮古農林水産振興セン ター	その他	発掘調査
7	宮古島市平良字東仲宗根添 1931-1	第2長間西更竹 の陣地壕	宮古農林水産振興セン ター	その他	現地保存
8	那覇市当間301	当間前原壕	沖縄防衛局長	土木工事	慎重工事
9	南城市知念字久手堅216、217番 地	久手堅遺物散布 地	特定非営利活動法人 国 際ボランティア学生協会	その他	発掘調査

(4) 文化財保護法第102条に係る埋蔵物の鑑査及び文化財認定一覧

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	(場所)宜野湾市新 城、字喜友名	H28.12.28	宜野湾市教育委 員会教育長	沖縄防衛局 長	先史土器、グスク土器、カムイヤキ、 白磁、青磁、青花、褐釉陶器、石器、 銭貨、獣骨、貝類、沖縄産陶器 {21 箱}	宜野湾市教育 委員会
2	藪地洞穴遺跡	H29.10.7	うるま市教育委 員会教育長	個人	土器、石器、貝製品、自然遺 物 {33箱}	うるま市教育 委員会
3	(場所)宜野湾市我如 古二丁目963番地	H29.3.30	宜野湾市教育委 員会教育長	個人	蔵骨器、沖縄産陶器、本土産 磁器など {9箱}	宜野湾市教育 委員会
4	(場所)宜野湾市喜友 名一丁目520-1	H25.9.16	宜野湾市教育委 員会教育長	個人	土器片、石器片、石材、獣骨 片、貝類など {25箱}	宜野湾市教育 委員会
5	(場所)宜野湾市字神 山281番地 ほか	H28.3.4	宜野湾市教育委 員会教育長	沖縄防衛局 庁	近世及び近代の陶磁器類、 瓦、銭貨など {5箱}	宜野湾市教育 委員会
6	与那覇グスク	H29.1.31	南風原町教育委 員会教育長	内閣府沖縄総 合事務局南部 国道事務所長	陶磁器類、土器、石器、金属製 品、自然遺物、セルロイド製品な ど {10箱}	南風原町教育 委員会
7	下大木原遺跡	H28.12.27	読谷村教育委員 会教育長	内閣府沖縄総 合事務局北部 国道事務所長	土器、石器 {2箱}	読谷村教育委 員会
8	(場所)名護市久志 26番地	H29.3.10	名護市教育委員 会教育長	個人	土器、石器、陶器、磁器、自然 遺物ほか {11箱}	名護市教育委 員会
9	ヤニバマ遺物散布 地	H29.2.28	名護市教育委員 会教育長	沖縄防衛局 長	土器、石器 {6点}	名護市教育委 員会
10	根謝銘グスク	H29.3.31	大宜味村教育委 員会教育長	大宜味村長	陶器、簪 {2点}	大宜味村教育 委員会
11	底川村遺跡	H29.5.6	城西大学 助教 石井 龍太	個人	沖縄産陶器、日本列島産陶磁 器、ガラス製品、金属製品 {1箱}	城西大学
12	西長浜原遺跡	H28.11.30	今帰仁村教育委 員会教育長	個人	土器片、石製品、骨製品、貝製 品、自然遺物 {1箱}	今帰仁村教育 委員会
13	シイナ城跡	H29.3.31	今帰仁村教育委 員会教育長	今帰仁村長	陶磁器、金属製品、石製品、自 然遺物 {1箱}	今帰仁村教育 委員会
14	豊見城グスク	H29.2.28	豊見城市教育委 員会教育長	豊見城市長	陶器編、磁器編、金属製品、銭 貨、土器片、石製品、骨製品、 貝類、動物骨 {10箱}	豊見城市教育 委員会
15	(場所)宜野湾市字 新城	H29.4.3	宜野湾市教育委 員会教育長	沖縄防衛局 長	土器、石器、青磁、カムイヤキ、 青花、銭貨、獣骨、貝類、沖縄 産陶器 {15箱}	宜野湾市教育 委員会
16	(場所)西原町字「小 波津861番地1」ほか	H27.10.9	西原町教育委員 会教育長	個人	蔵骨器、簪、銅製指輪、古銭、 沖縄産施釉陶器、沖縄産無釉 陶器、糖質土器 {8箱}	西原町教育委 員会
17	神山古集落	H29.8.17	沖縄県教育委員 会教育長	沖縄防衛局 長	近代陶磁器、金属製品 {150箱}	県立埋蔵文化 財センター
18	知念城跡	H29.7.31	南城市教育委員 会教育長	南城市長	瓦破片、陶磁器等 {11箱}	南城市教育委 員会
19	渡口・和仁屋近世 墓群	H29.8.1	北中城村教育委員 会教育長	沖縄県知事	厨子甕、キセル {9点}	北中城村教育 委員会
20	具志川城跡	H29.3.22	久米島町教育委員 会教育長	久米島町長	中国産陶磁器片、陶器編、自然 遺物 {1箱}	久米島町教育 委員会

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
21	金武鍾乳洞遺跡	H29. 8. 19	沖縄国際大学 教授 上原 静	金武区長	土器片、カムイヤキ、陶磁器、貝 製品、骨製品、金属器、近現代 遺物、自然遺物{3箱}	沖縄国際大学
22	宜名真沖海底遺跡	H29. 3. 24	沖縄国際大学 講師 宮城 弘樹	国	陶磁器類、金属製品、ガラス瓶 {1箱}	沖縄国際大学
23	浜崎貝塚	H29. 10. 8	伊江島村教育委員 会教育長	伊江島村長	土器片、石器、貝製品、骨牙製 品、貝類{250箱}	伊江村教育委員 会
24	豊見城古島B遺跡 ほか	H29. 9. 8	豊見城市教育委員 会教育長	沖縄県知事	陶器片、磁器片、金属製品、銭 貨、土器片、石製品、貝製品、 骨製品、貝類、動物骨{1箱}	豊見城市教育 委員会
25	(場所)与那原町字与 那原平良原1838-2番 地 ほか	H29. 8. 31	与那原町教育委員 会教育長	内閣府沖縄総 合事務局南部 国道事務所長	土器片、陶磁器片、石器、自然 遺物、人骨{21箱}	与那原町教育 委員会
26	(場所)宜野湾市嘉 数1丁目201-1	H29. 8. 14	宜野湾市教育委員 会教育長	株式会社 メ ルク	近世及び近代の陶磁器、獣骨 {24点}	宜野湾市教育 委員会
27	首里当蔵旧水路	H30. 1. 31	沖縄県教育委員 会教育長	沖縄県知事	近代陶磁器、銭貨等{2箱}	県立埋蔵文化 財センター
28	(場所)宜野湾市宇 喜友名 ほか	H30. 2. 28	宜野湾市教育委員 会教育長	沖縄防衛局 長	先史土器、グスク土器、カムイヤキ、白磁、青磁、 青花、褐釉陶器、石器、銭貨、金属製品、獣骨、 貝類、沖縄産陶器、本土産陶磁器等{129箱}	宜野湾市教育 委員会
29	(場所)宜野湾市宇 宇地泊313番地	H30. 3. 7	宜野湾市教育委員 会教育長	個人	近世及び近代の厨子、キセル等 {8点}	宜野湾市教育 委員会
30	(場所)宜野湾市普 天間	H30. 3. 14	沖縄県教育委員 会教育長	沖縄防衛局 長	土器、石器、陶磁器、石製品、 銭貨、獣魚骨、石材{65箱}	県立埋蔵文化 財センター
31	西村跡	H29. 4. 24	那覇市教育委員 会教育長	個人	沖縄産陶器・外国産陶磁器等{4 箱}	那覇市教育委員 会
32	ナイクブ古墓群	H30. 1. 31	那覇市教育委員 会教育長	沖縄県知事	沖縄産陶器・本土産磁器等{40 箱}	那覇市教育委員 会
33	末吉村跡	H30. 2. 16	那覇市教育委員 会教育長	那覇市長	陶磁器破片等{10箱}	那覇市教育委員 会
34	壺屋古窯群	H30. 2. 28	那覇市教育委員 会教育長	個人	陶磁器破片等{3箱}	那覇市教育委員 会
35	識名原遺跡	H30. 3. 22	那覇市教育委員 会教育長	個人	土器片・陶磁器片等 {1箱}	那覇市教育委員 会
36	久茂地村跡	H30. 3. 30	那覇市教育委員 会教育長	那覇市長	沖縄産陶器・本土産磁器・ 木製品等{19箱}	那覇市教育委員 会

(5) 文化財保護法第107条に係る出土文化財譲与一覧

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	親富祖遺跡	H29. 9. 23	浦添市教育委員 会教育長	個人	土器、陶磁器、自然遺物など{2 箱}	浦添市教育委員 会
2	浦添城跡	H28. 12. 26	浦添市教育委員 会教育長	沖縄県知事 浦添市長	陶磁器、瓦など {2箱}	浦添市教育委員 会
3	前田・経塚近世古 墓群	H29. 2. 9	浦添市教育委員 会教育長	浦添市長	蔵骨器、蔵骨器片、副葬品、埋 葬人骨など{5箱}	浦添市教育委員 会
4	渡口・和仁屋近世 古墓群	H29. 8. 1	北中城村教育委員 会教育長	沖縄県知事	厨子甕、煙管{9点}	北中城村教育 委員会

(6) 文化財保護法第92条第1項に係る発掘調査の届出一覧

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在 市町村	調査主体・調査担当者	調査目的	遺跡の主な時期・ 性格及び遺構等
1	金武鍾乳洞遺跡	金武町	沖縄国際大学 教授 上原静	学術研究	グスク時代・ 集落跡
2	網取遺跡	竹富町	東海大学 教授 北條芳隆	学術研究	近世・集落跡

(7) 文化財保護法第99条第1項に基づく発掘調査の報告一覧

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在 市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な 時期・性格
1	浜崎貝塚	伊江村	伊江村教育委員会	玉榮 飛道	開発に伴う発掘調査(公園 造成)	縄文、弥生・ 貝塚
2	喜友名山川原第九 遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村 毅	開発に伴う発掘調査(その 他開発)	縄文、弥生・ 集落跡
3	喜友名山川原第十 遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村 毅	開発に伴う発掘調査(その 他開発)	近世・生産遺 跡
4	普天間石川原第二 遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	長濱 健起	開発に伴う発掘調査(その 他開発)	縄文、弥生・ 集落跡
5	渡喜仁浜原貝塚	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	與那嶺 俊	開発に伴う発掘調査(観光 開発)	縄文、弥生・ 貝塚
6	小波津後原古墓群 A地点	西原町	西原町教育委員会	山田 浩久	開発に伴う発掘調査(住宅)	近世、近代・ 墓
7	浜崎貝塚	伊江村	伊江村教育委員会	玉榮 飛道	開発に伴う発掘調査(公園 造成)	縄文、弥生・ 貝塚
8	普天間旧道	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村 毅	開発に伴う発掘調査(その 他開発)	縄文、近世・ 交通遺跡
9	普天間石川原第二 遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	伊藤 圭	開発に伴う発掘調査(その 他開発)	縄文、古墳、グ スク、近世・集 落跡
10	安仁屋東原古墓群	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	長濱 健起	開発に伴う発掘調査(その 他開発)	近世・墓
11	渡口・和仁屋近世古 墓群	北中城村	北中城村教育委員会	小橋川 剛	開発に伴う発掘調査(道路)	近世・墓
12	豊見城グスク	豊見城市	豊見城市教育委員会	宮城 良真	開発に伴う発掘調査(その 他開発)	グスク・城館 跡
13	豊見城古島B遺跡	豊見城市	豊見城市教育委員会	宮城 良真	開発に伴う発掘調査(その 他開発)	近世・集落跡
14	平良遺物散布地	与那原町	与那原町教育委員会	宮城 明恵	開発に伴う発掘調査(道路)	古墳、奈良、平 安、グスク・散 布地
15	ナイクブ古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	樋口 麻子	開発に伴う発掘調査(公園 造成)	近世・墓
16	末吉村跡	那覇市	那覇市教育委員会	吉田 健太	開発に伴う発掘調査(公園 造成)	近世・集落跡
17	普天間石川原遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財 センター	具志堅 清大	開発に伴う発掘調査(宅地 造成、住宅)	縄文、グスク、 近世、近代・集 落跡
18	中城御殿跡	那覇市	県立埋蔵文化財 センター	宮城 淳一	保存目的の範囲内容確認調 査	中世、近世・ その他遺跡
19	中城御殿跡(首里高校)、 大美御殿、かじ木植所跡	那覇市	県立埋蔵文化財 センター	亀島 信吾	開発に伴う発掘調査(学校)	グスク、近世、 近代、校舎跡
20	天仁屋原遺跡	名護市	名護市教育委員会	松原 彰子	開発に伴う発掘調査(その 他建物)	グスク、近 世・集落跡
21	大浦崎収容所	名護市	名護市教育委員会	宮城 智浩	開発に伴う発掘調査(道路)	近現代・戦争 遺跡

項目 No.	遺 跡 名	所 在 市町村	調 査 主 体	調査担当者	調 査 目 的	遺跡の主な 時期・性格
22	サキタリ洞遺跡	南城市	沖縄県立博物館・美術館	山崎 真治	学術調査	旧石器、縄文、弥生・散布地
23	首里当蔵旧水路	那覇市	県立埋蔵文化財センター	瀬戸 哲也	開発に伴う発掘調査(道路)	近世、近代・水路
24	大堂原貝塚	名護市	名護市教育委員会	宮城 智浩	開発に伴う発掘調査(観光)	縄文、弥生、古墳、奈良、平安・散布地
25	久茂地村跡	那覇市	那覇市教育委員会	當銘 由嗣	開発に伴う発掘調査(その他建物)	近世、近代・集落跡
26	大見武古島遺跡	与那原町	与那原町教育委員会	宮城 明恵	開発に伴う発掘調査(電気)	近世・集落
27	宇地泊西原丘陵古墓群	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	長濱 健起	開発に伴う発掘調査(その他開発)	近世・墓
28	港川遺跡	八重瀬町	八重瀬町教育委員会	玉城 のどか	遺跡整備	旧石器、縄文、グスク、近代・生産遺跡
29	長崎兼久遺物散布地	名護市	名護市教育委員会	宮城 智浩	開発に伴う発掘調査(その他開発)	グスク、近世近現代・散布地
30	識名原遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	吉田 健太	開発に伴う発掘調査(住宅)	縄文、グスク、近世・集落跡
31	根謝銘城跡	大宜味村	大宜味村教育委員会	寄合 龍己	保存目的の範囲内容確認調査	グスク、城館跡
32	具志原貝塚	伊江村	伊江村教育委員会	玉榮 飛道	保存目的の範囲内容確認調査	縄文、弥生・貝塚、墓

(8) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 文化財担当者専門研修参加者一覧

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

項目 No.	研 修 名	期 間	参 加 者	所 属
1	文化財担当者専門研修 「出土品管理・活用課程」	平成29年7月10日～ 7月14日	山城 文人	竹富町教育委員会
2	文化財担当者専門研修 「遺跡情報記録調査課程」	平成29年9月12日～ 9月15日	小橋川 剛	北中城村教育委員会
3	文化財担当者専門研修 「文化財写真課程」	平成29年11月27日～ 12月7日	宮城 淳一	県立埋蔵文化財センター
4	文化財担当者専門研修 「名勝保存活用基礎課程」	平成30年1月15日～ 1月19日	安斎 英介	浦添市教育委員会

(9) 鉱業権法第24条の規定に基づく協議

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

No.	出 願 地	出 願 番 号	鉱種名	出願 種類	回 答 内	
					所在埋蔵文化財	所在天然記念物等
1	うるま市	28 沖経出採般第4号	石灰岩	採掘	該当なし	地域を定めず指定された天然記念物
2	石垣市	29 沖経出採般第3号	石灰岩・ドロマイト	採掘	該当なし	地域を定めず指定された天然記念物
3	伊平屋村	16 沖経出採般第7号 16 沖経出採般第8号	けい石	採掘	該当なし	該当なし
4	八重瀬町	30 沖経出採般第1号	石灰岩	採掘	周知の埋蔵文化財	地域を定めず指定された天然記念物
5	八重瀬町、糸満市	29 沖経出採般第4号	石灰岩	採掘	周知の埋蔵文化財	地域を定めず指定された天然記念物
6	糸満市	29 沖経出採般第6号	石灰岩	採掘	周知の埋蔵文化財	地域を定めず指定された天然記念物
7	糸満市	29 沖経出採般第5号	石灰岩	採掘	周知の埋蔵文化財	地域を定めず指定された天然記念物
8	糸満市	29 沖経出試般第7号	石灰岩	採掘	周知の埋蔵文化財	地域を定めず指定された天然記念物

6. 円覚寺跡保存整備事業（文化庁国庫補助事業）

（1）事業の概要

円覚寺は、尚真王が父尚円王の御霊を祀るために1492年に建立した臨済宗の総本山であり、第二尚氏王代の菩提寺でもあった。

琉球第一の巨刹で、総門をはじめ、三門、放生池、仏殿、龍淵殿、鐘楼、獅子窟等が昭和8年1月23日に国宝に指定されたが、去る沖縄戦において破壊され、国宝指定は解除された。戦後、総門や放生橋等の一部が復元整備され、公開されているが、それ以外の建造物群等は旧琉球大学運動場整備に伴い、客土による遺構の保護が行われていた。

本史跡は、県営公園の範囲に含まれており、隣接する首里城跡や円覚寺総門、龍潭、円鑑池等の史跡の整備及び公園整備事業（国、県土木建築部）との整合性を図り、その保全と活用・公開等を図るため、国の補助を受けて保存整備事業を実施している。

当該事業は、平成9年度から平成13年度までの5ヶ年計画で整備に先駆けて遺構調査が実施され、調査並びに聞き取り調査の成果に基づいて、平成14年度より境内を取り巻く石牆（土留め石積み）の復元整備を実施し、平成26年度から三門復元に取り組んでいる。

（2）円覚寺跡整備委員会 建築部会

- ①平成29年9月29日（楡国建 会議室 K's） 第1回 建築部会
 ②平成30年2月27・28日（楡国建 会議室 K's） 第2回 //

平成29年度は、平成28年10月に文化庁にて開催された「史跡等における歴史的建造物の取扱いに関する専門委員会」における三門復元の基本設計等について審議結果を踏まえて円覚寺跡復元整備委員会 建築部会を開催し、仏教や古建築を専門家による三門について検討を行った。

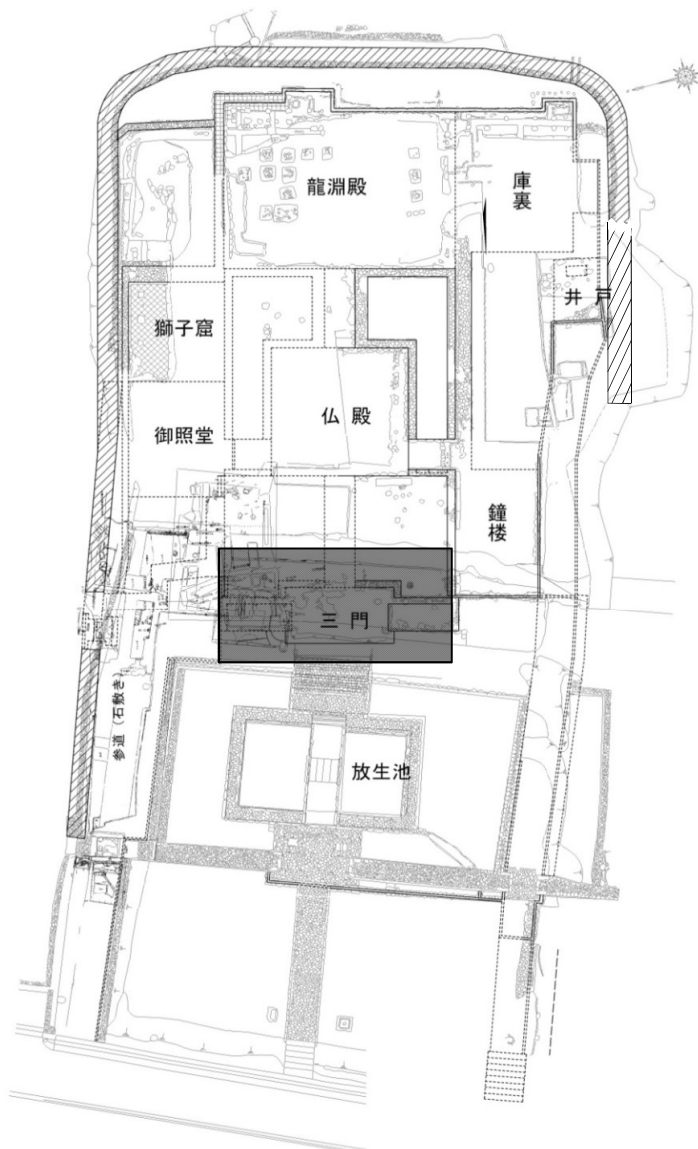
（3）円覚寺跡保存整備事業の事業費並びに事業箇所の推移

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料（設計・管理）
平成14年度	・石牆（土留め石積み） 修復工事（97.1㎡） ・工事用道路の設置	35,000	27,000	28,822.50	委託料費 5,617.40 ・設計 4,649.40 ・監理 968
平成15年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（48.1㎡）	15,000	12,000	工事経費 9,681	委託料費 4,935 ・設計 3,360 ・監理 1,575
平成16年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（28.1㎡） ・工事用道路の設置 ・既存石積みの解体	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料費 5,355 ・設計 3,360 ・監理 1,291.50 ・測量 703.5
平成17年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（43.0㎡）	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料費 5,281.70 ・設計 2,324.70 ・監理 2,259.60 ・測量 697.4
平成18年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（42.0㎡）	13,500	10,800	工事経費 8,999.55	委託料費 3,525.00 ・設計 1,079.40 ・監理 2,445.60
平成19年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（30.0㎡）	14,986	11,988	工事経費 7,001.40	委託料費 3,865.00 ・設計 1,575.00 ・監理 1,786.00 ・測量 504
平成20年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（29.4㎡）	14,407	11,525	工事経費 6,990.90	委託料費 3,705.00 ・設計 1,680.00 ・監理 1,694.70 ・化学測定 330.3
平成21年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（27.0㎡）	14,340	11,472	工事経費 6,770.40	委託料費 3,771.00 ・設計 1,785.00 ・監理 1,470.00 ・伐採 516
平成22年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（44.5㎡）	17,677	14,141	工事経費 9,921.45	委託料費 3,768.45 ・設計 1,732.50 ・監理 1,695.75 ・年代測定 340.2

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料（設計・管理）
平成23年度	三門地区地耐力調査	5,000	4,000	工事経費 0	委託料費 4,730,668 ・地耐力調査 4,730,668
平成24年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（17.5㎡）	19,229	15,383	工事経費 8,998	委託料費 3,769.00 ・設計 1,832.00 ・監理 1,937.00
平成25年度	石牆（土留め石積み）	17,587	14,068	工事経費 4042.5	委託料費 2,702.80 ・設計 1,570.80 ・管理 1,132.00
平成26年度	三門復元基本設計	9,185	0	工事経費 0	委託料費 8,640.00 ・設計 8,640.00
平成27年度	三門復元基本設計	1,056	717	工事経費 0	委託料費 712.80 ・測量 712.80
平成28年度	三門復元実施設計 三門遺構調査	18,310	14,646	工事経費 0	委託料費 13,359.00 ・実施設計 12,852.00 ・磁気探査 507.00
平成29年度	三門復元実施設計 三門遺構調査	10,173	9,964	工事経費 0	委託料費 5,724.00 ・実施設計 5,724.00

平成29年度 円覚寺跡保存整備事業

沖縄県立芸術大学側



首里城側

【凡例】

平成29年度復元検討箇所



7. 新たに国の指定になった文化財

(1) 重要文化財（建造物）の指定

①玉御殿

種 別：重要文化財（建造物）
所 在 地：沖縄県島尻郡伊是名村伊是名元島 20 番
構 造・形 式：石造・切妻造
大 き さ 等：石造 延長 36.9m、門一所を含む
墓地 373.03 m²
伊是名元島 20 番の地域内の石段、石垣を含む

所 有 者：伊是名村

建 築 年 代：康熙 27 年（1688 年）

指 定 基 準：流派的又は地方的特色において顕著なもの

指定をする理由： 玉御殿は、琉球王家第二尚氏初代尚円王の父尚稷（しよく）らの墓所で、伊是名島南東の小山の北麓に位置し、康熙 27 年（1688）に整えられた。岩盤に接して造られた石造の墓室と、その正側面を画す石牆からなり、正面中央にアーチ状の門を開き、前面に石段を築く。墓室は琉球石灰岩積で、石製の棟木に平石を切妻形に置いて漆喰で仕上げた、いわゆる破風墓の形式をもち、内部は東西に 2 室を設ける。

玉御殿は、築造年代が明らかな琉球王家の墓所として貴重であり、琉球地方における造墓形式や築造技術の特色が顕著に認められ、高い価値を有している。

官 報 告 示：平成29年 7 月 31 日付け文部科学省告示第 101 号



玉御殿



玉御殿墓室

(2) 重要無形文化財（芸能）の指定

①組踊音楽太鼓

名 称：くみおどりおんがくたいこ組踊音楽太鼓

種 別：重要無形文化財（芸能の部）

指定年月日：平成 29 年 10 月 2 日

説 明：「組踊音楽太鼓」は平成 15 年 7 月 10 日に重要無形文化財に指定され、島袋光史氏が保持者に認定されていたが、平成 18 年の同氏の逝去にともない指定が解除されていた。今回、改めて指定されるとともに、保持者が認定された。

(3) 重要無形文化財（芸能）保持者の認定

①重要無形文化財「組踊音楽太鼓」の保持者

保持者名：比嘉 聰

生年月日：昭和27年4月8日

住 所：沖縄県那覇市繁多川1-25-23

認定年月日：平成29年10月2日

説 明：比嘉氏は、昭和47年に島袋光史氏（重要無形文化財「組踊音楽太鼓」（各個認定）保持者 ※平成18年物故）に師事し、本格的な修行を始め、昭和60年には光史流太鼓保存会比嘉聰練場を開設している。更に師の薫陶のもと修練を積み、同63年には太鼓の師範免許を取得している。師の没後も研鑽に励み、平成27年に重要無形文化財「組踊」保持者に総合認定された。

曲趣を的確に捉え、端正で抑制のきいた同人の演奏は、組踊を豊かに表現するものとして高く評価されている。加えて、島袋光史から学んだ組踊全般に及ぶ知識と、その上に確立された組踊に対する深い理解、見識は、斯界から厚い信頼が寄せられ、東京国立劇場や国立劇場おきなわ主催公演をはじめ、芸術祭主催公演など多数出演し、優れた舞台成果を世に示している。また、自らの一門における弟子の養成に加え、沖縄県立芸術大学教授や国立劇場おきなわ組踊研修講師を務めて後進の指導にあたり、斯界の発展と後継者の育成にも貢献している。以上のように、同人は組踊音楽太鼓の技法を正しく体得し、かつ、これに精通するとともに、その技法を高度に体現している。

官 報 告 示：平成29年10月2日付け 文部科学省告示第128号

8. 新たに国の登録になった文化財

(1) 記念物（遺跡関係）の登録

①沖縄県鉄道与那原駅跡

種 別：登録記念物（遺跡関係）

所 在 の 場 所：沖縄県島尻郡与那原町字与那原3148-1番他9筆

所有者・占有者：与那原町長

指 定 面 積：1,622.01㎡

指 定 基 準：遺跡関係の二（地域の歴史の特徴を表しているもの）

指定をする理由： 沖縄県鉄道与那原駅跡は、那覇市から東へ約9km、沖縄本島南部の東海岸に位置する与那原町に所在する。沖縄県鉄道とは、大正時代から昭和20（1945）年まで、沖縄県が本島中南部において経営していた鉄道で、沖縄県営鉄道ともいい、762mm（2フィート6インチ）の軌間を採用した軽便鉄道である。沖縄では、「ケービン」と呼ばれて親しまれた。与那原線、嘉手納線、糸満線の三路線から成り、そのうち那覇と与那原を結ぶ与那原線は、三路線のなかでもっとも早い大正3（1914）年に開業した。当初の駅舎は木造平屋建てで、昭和6（1931）年、県営鉄道では唯一の鉄筋コンクリート造平屋建てに建て替えられた。駅舎は沖縄戦で被害を受けたが、戦後も与那原町役場等として利用された。平成27（2015）年、与那原町立軽便与那原駅舎展示資料館として駅舎が復元されたが、その際、駅舎の柱の保存と公開をはかる措置が取られた。また、レールや、レールを固定する犬釘等の線路遺構も見つかっている。近代沖縄における鉄道を中心とした交通の歴史を知る上で意義深い。

官 報 告 示：平成29年10月13日付け文部科学省告示第146号



与那原町立軽便与那原駅舎展示資料館



レール出土状況

9. 指定文化財管理

(1) 国指定文化財管理事業

① 事業目的

文化財保護法の規定に基づき指定された重要文化財及び名勝等の維持管理の万全を期する。

② 事業内容

1) 防災設備保守点検等

指定文化財である建物等に設置した自動火災報知設備、消火設備など及びこれらに準ずる防災の保守点検等

2) 小修理

指定文化財である建物等の維持管理のための小修理

3) 名勝等庭園の荒廃防止及び民家等の環境整備

ア、名勝等に指定された庭園の適正な環境を維持するための除草、剪定、整姿等

イ、指定文化財である民家等の屋敷構え等の適正な環境を維持するために行う除草、剪定等

③ 事業主体

沖縄県

④ 事業の実績

(単位:千円)

文化財の種別	名 称	市 町 村	所 有 者	平成29年度 実績額	総事業費	備 考
国 指 定 重 要 文 化 財	中村家住宅	北中城村	中村国宏	347	22,276	(昭55～平28)
	上江洲家住宅	久米島町	上江洲智一	470	19,693	(昭54～平28)
	喜友名泉	宜野湾市	知念清栄他	117	2,341	(平5～平28)
	石垣氏庭園	石垣市	石垣長敏	128	3,780	(平15～平28)
	仲村渠樋川	南城市	仲村渠財産区	156	2,034	(平17～平28)
合 計				1,218	50,124	

10. 文化財愛護事業

(1)「私たちの文化財」図画作品募集

5月中旬～9月下旬の期間募集し、小学校1・2学年23点(8校)、小学校3・4学年90点(19校)、小学校5・6学年47点(24校)、中学校93点(15校)、高等学校77点(9校)、合計330点(57校)の応募があった。

審査会:平成29年10月10日(火)13時～17時 沖縄県立総合教育センター 多目的ホール
 審査員:上原 進 (総合教育センター) 大城 勝矢 (県立学校教育課)
 前田 克也(県立大平特別支援学校) 長嶺まゆみ (県立泡瀬特別支援学校)
 伊禮 徳子(県立真和志高等学校)

審査結果は下記のとおりで、表彰式を11月1日(水)15時より、県庁舎4階講堂で行い、10月30日(月)～11月2日(木)の期間、県庁舎1階の県民ホールで全入賞作品75点を展示した。

賞	小学校1・2年の部	小学校3・4年の部	小学校5・6年の部
最優秀賞	穴井 力丸 (カトリック小)	真栄城 帝都 (長田小)	比嘉 悠登 (宜野湾小)
優秀賞	久保田 愛梨 (ゆたか小) 松原 叶歩 (小浜小)	宮城 美哉和(普天間第二小) 平田 杏南 (カトリック小)	中地 琉花 (北中城小) 石嶺 真麗乙(港川小)
佳作	森川 廉也 (カトリック小) 毛呂 朱音 (カトリック小) 前泊 大瞬 (カトリック小) 水野 春琉 (兼原小)	具志堅 朱俐(カトリック小) 豊見山 諒亮(普天間第二小) 東門 仁悠 (普天間第二小) 東 大祐 (平真小)	近藤 花音 (南小) 平良 志野 (平良第一小) 齋藤 里歩子(カトリック小) 藤田 雫 (大宜味小)
入選	8名	8名	8名

賞	中学校の部	高等学校の部
最優秀賞	越野 花音 (琉大附属中)	土井 奈儀子 (知念高)
優秀賞	新里 玲奈 (港川中) 河野 円香 (真志喜中)	渡久山 紘花 (浦添工業高) 砂辺 海里 (首里高)
佳作	近本 晴海 (琉大附属中) 中山 盛榎 (カトリック中) 東 小恵 (真志喜中) 中地 珠李果 (北中城中) 米田 真萌 (港川中) 上地 慶 (安岡中) 宮城 汐音 (安岡中)	久手堅 彰哉 (知念高) 宮城 歩実 (浦添工業高) 樋口 千尋 (豊見城高) 波川 智咲 (具志川高) 納山 純菜 (具志川高) 大庭 優奈 (与勝高)
入選	8名	3名

(2)平成29年度文化財保護強調週間ポスター

11月1日～7日の文化財保護強調週間の啓発のため、平成28年度「私たちの文化財」図画作品募集小学生1・2年の部 最優秀作品「はたがしら」[(安武来瞳さん 沖縄カトリック小学校2年(受賞当時)]、並びに、高等学校の部 最優秀作品「座喜味城跡アーチ」[秋吉優花さん 美里高等学校2年(受賞当時)]を原画にポスターを作成し、市町村教育委員会、学校、文化財関係施設などに配付した。

11. みんなの文化財図鑑刊行事業

事業総額：19,223千円（国15,378千円、県3,845千円）

事業種別：沖縄振興特別推進交付金

事業主体：沖縄県

事業期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

事業目的：沖縄の歴史・文化への普及・啓発を行うため、国指定文化財、県指定文化財、市町村指定文化財を紹介する書籍、6冊を刊行する。刊行後は、県内の学校及び公立図書館を中心に配布するとともに、ハンドブック版については、観光客へのサービスとして世界遺産などの文化財と関連する施設に配布し、目に触れるようにする。

事業概要：沖縄県の文化財を広く普及するために、「有形文化財編」「無形・民俗文化財編」「史跡・名勝編」「天然記念物編」「埋蔵文化財編」「ハンドブック版」を作成する。平成29年度は「史跡・名勝編」の刊行を行い、小中学校、高等学校、公立図書館、公民館、児童クラブなど983ヶ所に配布した。

実施体制：文化財課で県内の文化財情報の収集、本文の執筆を行う。写真撮影、編集、翻訳については業務委託を行う。